

第39回  
全国ろうあ者体育大会  
inながさき  
めがせデフリンピック! 平和の街長崎から

2005年9月22日(木) ~ 25日(日)

長崎県 (長崎市・佐世保市・大村市・諫早市・島原市)

---

主 催：財団法人全日本ろうあ連盟  
主 管：長崎県ろうあ福祉協会  
協 賛：近畿日本ツーリスト長崎支店

## < 目 次 >

1 . 大会実行委員長のあいさつ	1
2 . 大会開催要項	2
3 - 1 . 競技実施要項規定	5
3 - 2 . 各種届書式、会場案内図	11
・登録選手変更届	
・委任状	
・監督・コーチ変更届	
・ダブルス組み合わせ同意書	
・監督・主将会議の会場案内図	
4 . 競技別実施要項及び注意事項・本大会申し合わせ事項	17
第 51 回軟式野球競技実施要項	17
第 39 回卓球競技実施要項	20
第 37 回バレーボール競技実施要項	23
第 36 回陸上競技実施要項	28
第 25 回サッカー競技実施要項	30
第 24 回テニス競技実施要項	33
第 19 回ゲートボール競技実施要項	35
第 18 回ボウリング競技実施要項	37
第 13 回ソフトボール競技実施要項	39
第 13 回バドミントン競技実施要項	42
第 6 回バスケットボール競技実施要項	44
5 . 参加申込方法のご案内	46
(1) 参加申込の手続き	46
宿泊・昼食(弁当)・航空券・観光等について	
参加申込方法と申込先について	
(2) 参加申込書	57
(3) 日通ペリカン便集荷申込書(ボウリング競技のみ)	61
6 . 競技会場・ホテルの案内図	65

## 第39回全国ろうあ者体育大会

### ご あ い さ つ

五月晴れが続く季節、スポーツをこよなく愛する全国の選手の皆様には、一生懸命練習に励んでおられることと存じます。

皆様が、それぞれ得意な分野の技を心置きなく発揮し、友愛を深め交流の輪を広げて頂くために、実行委員会は準備を進めているところですが、遅れが出ている「第39回全国ろうあ者体育大会」の案内書をようやくお届けできる運びとなりました。

緑と水と花の街、異国情緒豊かな街、長崎、そして60年前、広島に続いて原爆が落下され悲惨な過去を持つ被爆県、長崎において開催される体育大会のメインテーマは、命の尊厳と平和を強く願う長崎に相応しい「～めざせデフリンピック！ 平和の街 長崎から～」です。

昨今の厳しい財源事情の影響を受けての大会準備ではありますが、選手の皆様それぞれが持っている可能性を長崎大会において最大限に伸ばし、4年後のデフリンピックへの参加権獲得のお手伝いができることを、県及び開催地域行政、競技団体、地域実行委員一同この上なく喜びに感じているところです。

9月22日（木）～25日（日）の4日間の日程で開催される競技や関連行事は、開催要項にもありますように、県内5会場（長崎市・大村市・諫早市・島原市・佐世保市）分散開催となっております。競技内容によっては移動手段など、距離的にかなりの所要時間を要しますので、選手及び関係者の皆様方にはご不便をおかけするかとと思いますが、競技会場やスタッフ確保など物理的な面の事情によるものとご理解の上、ご協力を頂きますようお願いいたします。

最後に、選手とそこにご家族及び役員の皆様のご健康を祈念し、元気な笑顔でお会いできる日を心よりお待ちしております。

2005年 5月吉日

第39回全国ろうあ者体育大会  
実行委員長 村 上 一 男

## 2. 第39回全国ろうあ者体育大会開催要項

1. 目的 全国のろうあ者がスポーツを通して技を競い、健康な心と体を養い、自立と社会参加を促進し、合わせて国民のろうあ者に対する正しい理解を深めるために開くものである。
2. 名称 第39回全国ろうあ者体育大会
  - (1) 第51回 軟式野球競技
  - (2) 第39回 卓球競技
  - (3) 第37回 バレーボール競技
  - (4) 第36回 陸上競技
  - (5) 第25回 サッカー競技
  - (6) 第24回 テニス競技
  - (7) 第19回 ゲートボール競技
  - (8) 第18回 ボウリング競技
  - (9) 第13回 ソフトボール競技
  - (10) 第13回 バドミントン競技
  - (11) 第6回 バスケットボール競技
3. 開催日程 2005年9月22日(木)～2005年9月25日(日)
4. 会場 長崎市・佐世保市・大村市・諫早市・島原市
5. 主催 財団法人全日本ろうあ連盟
6. 主管 長崎県ろうあ福祉協会  
第39回全国ろうあ者体育大会実行委員会
7. 競技主管 長崎県軟式野球連盟、長崎県卓球連盟、長崎陸上競技協会、長崎県バレーボール協会、長崎県サッカー協会、長崎県テニス協会、長崎県ゲートボール協会、長崎県ボウリング連盟、長崎県ソフトボール協会、長崎県バドミントン協会、長崎県バスケットボール協会
8. 後援(予定)

厚生労働省、文部科学省、(財)日本体育協会、(財)日本障害者スポーツ協会、(社福)全国社会福祉協議会、(社福)日本身体障害者団体連合会、全国手話通訳問題研究会、全国ろう学校体育連盟、長崎県、長崎県議会、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市議会、長崎市教育委員会、佐世保市、佐世保市議会、佐世保市教育委員会、諫早市、諫早市議会、諫早市教育委員会、大村市、大村市議会、大村市教育委員会、島原市、島原市議会、島原市教育委員会、飯盛町、飯盛町教育委員会、長崎県市長会、長崎県町村会、長崎県体育協会、長崎市体育協会、佐世保市体育協会、諫早市体育協会、大村市体育協会、島原市体育協会、長崎県障害者スポーツ協会、(社福)長崎県共同募金会、(社福)長崎県身体障害者福祉協会連合会、九州聴覚障害者団体連合会、長崎県立ろう学校、長崎県立ろう学校同窓会、日本赤十字社長崎県支部、長崎県医師会、長崎市医師会、佐世保市医師会、諫早市医師会、大村市医師会、島原市医師会、長崎県看護協会、長崎新聞社、西日本新聞社長崎総局、毎日新聞社長崎支局、読売新聞社長崎支局、朝日新聞社長崎支局、NHK長崎放送局、長崎放送、長崎国際テレビ、テレビ長崎、長崎文化放送、エフエム長崎(順不同)

9. 協 賛 (予定)

長崎県各ライオンズクラブ、長崎市各ライオンズクラブ、佐世保市各ライオンズクラブ、諫早市各ライオンズクラブ、大村市各ライオンズクラブ、島原市各ライオンズクラブ、長崎県ロータリークラブ、長崎市ロータリークラブ、佐世保市ロータリークラブ、諫早市ロータリークラブ、大村市ロータリークラブ、島原市ロータリークラブ、ナイガイ、ナガセケンコー

10. 協 力 (予定)

全国手話通訳問題研究会長崎支部、長崎県手話サークル連絡協議会

11. 日程及び会場 (会場は現時点では予定) 期 間: 2005年9月22日(木)～25日(日)

月 日	時 間	内 容	会 場
9月22日(木)	14:00～15:00	日本ろう者スポーツ協会常任中央委員会	大村市コミュニティセンター
	15:00～18:00	〃 中央委員会	〃
	19:00～21:00	競技運営会議(実行委員会・中央委員会)	〃
9月23日(金)	9:00～9:50	競技別担当者打合せ	大村市コミュニティセンター
	10:00～12:00	監督・主将会議	〃
	14:00～16:00	開会式	大村市体育文化センター (さくらホール)
9月24日(土)	9:00～17:00	第51回 野球競技(軟式)	長崎市総合運動公園 かきどまり野球場 布巻町元宮公園多目的広場 飯盛町総合運動場 海星学園野球場 三菱球場
		第39回 卓球競技	長崎県立総合体育館メインアリーナ 〃 サブアリーナ
9月25日(日) (全11競技)	9:00～15:00	第37回 バレーボール競技	佐世保市体育文化館大体育室 〃 小体育室
		第36回 陸上競技	長崎県立総合運動公園 陸上競技場
		第25回 サッカー競技	島原市営平成町多目的広場
		第24回 テニス競技	長崎市総合運動公園 かきどまり庭球場
		第19回 ゲートボール競技	平和公園市営ラグビーサッカー場
		第18回 ボウリング競技	長崎ラッキーボウル
		第13回 ソフトボール競技	大村市営野球場 〃 補助グラウンド 大村市営森園運動広場
		第13回 バドミントン競技	大村体育文化センター メインアリーナ 〃 サブアリーナ
		第6回 バスケットボール競技	島原復興メインアリーナ 〃 サブアリーナ

9月25日(日) (全11競技)	15:00~16:00	大会閉会式	各競技会場で表彰式を行う
---------------------	-------------	-------	--------------

## 12. 参加者数 (予定)

競技種目	チーム数		参加者数(名)	備考 競技会場数
	男子	女子		
第51回 野球競技(軟式)	15		224	4面
第39回 卓球競技	10	4	177	28卓
第37回 バレーボール競技	13	13	170	4コート
第36回 陸上競技	24	9	233	
第25回 サッカー競技	13		221	4面
第24回 テニス競技	15	12	97	16コート
第19回 ゲートボール競技	24		157	6コート
第18回 ボウリング競技	21	10	181	60レーン
第13回 ソフトボール競技	13		177	2面
第13回 バドミントン競技	14	14	67	8コート
第6回 バasketボール競技	14	4	196	3コート
合計			1,900	

### <参加動員数>

参加者内訳	参加者数
選手	1,900名
応援者	200名
大会役員	70名
競技役員・審判員・競技補助員	846名
実行委員会関係者	50名
手話通訳者・大会要員	900名
総計	3,966名

## 13. 問い合わせ先

(競技に関することは)

第39回 全国ろうあ者体育大会実行委員会事務局

〒852-8104 長崎県長崎市茂里町3-24 長崎県総合福祉センター4F

長崎県ろうあ福祉協会

電話：095-847-2681 Fax：095-847-2572

E-mail：[roua-ngs@siren.ocn.ne.jp](mailto:roua-ngs@siren.ocn.ne.jp)

(宿泊・弁当・交通関係に関する場合は)

〒850-0033 長崎県長崎市万才町7-1 住友生命ビル1F

近畿日本ツーリスト(株)長崎支店

『第39回全国ろうあ者体育大会』係 (担当：淵上、河添、川野)

電話：095-820-1684 FAX：095-821-4806

E-mail：[kawano931243@mb.knt.co.jp](mailto:kawano931243@mb.knt.co.jp)

### 3. 全国ろうあ者体育大会 競技実施要項規定

#### 1. 実施競技種目

実施競技種目は次の通りとする。

期 日	競 技 種 目		備 考	
	競 技	男子の部		女子の部
9月24日 (土)	第51回野球競技	全国9ブロックの予選大会の優勝・準優勝チーム及び大会開催地チームによるトーナメント戦		
	第39回卓球競技	団体戦	団体戦	ダブルス戦出場者は団体戦に出場できない。
		一般の部 シングルス戦	一般の部 シングルス戦	
		シニアの部 シングルス戦	シニアの部 シングルス戦	
		ダブルス戦	ダブルス戦	
混合ダブルス戦				
9月25日 (日) (2日間)	第37回バレーボール競技	6人制	6人制	1人3種目まで出場可。 (但しリレーを除く)  (追加) ・ 男女とも1部・2部の種目は共通。 ・ 1部は39歳以下、2部は40歳以上。(但し1部へ出場可)
	第36回陸上競技	100m	100m	
		200m	200m	
		400m	400m	
		800m		
		1,500m	1,500m	
		5,000m		
		10,000m		
		4×100m R	4×100m R	
		4×400m R		
		110m H		
		走幅跳	走幅跳	
		走高跳	走高跳	
		三段跳		
		砲丸投	砲丸投	
		やり投	やり投	
		円盤投		
第25回サッカー競技	団体戦			
第22回テニス競技	Aクラスシングルス	Aクラスシングルス	※ダブルス戦は、1種目まで。	
	Aクラスダブルス戦	Aクラスダブルス戦		
	Bクラスダブルス戦	Bクラスダブルス戦		
第19回ゲートボール競技	団 体 戦			
第18回ボウリング競技	団体戦	団体戦		
	個人戦	個人戦		
第13回ソフトボール競技	全国9ブロックの予選大会優勝・準優勝チーム及び大会開催地チームによるトーナメント戦			
第13回バドミントン競技	※シングルス戦	※シングルス戦	・ 種目は1人2種目まで。 ※1部・2部別に実施。	
	※ダブルス戦	※ダブルス戦		
	混合ダブルス戦			
第6回バスケットボール競技	5人制	5人制		

## 2. 表 彰

(1) 表彰は次のとおりとする。

野球競技	※優勝チーム	賞状、持ち回りの優勝旗・杯、全員に金メダル	
	準優勝チーム 第3位チーム	賞状、持ち回りの準優勝杯、全員に銀メダル 賞状、全員に銅メダル	
	個人賞	最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、最優秀打者賞及び敢闘賞	
卓球競技	※団体戦 (男女別)	優勝チーム	男女別に賞状、持ち回りの優勝旗、選手全員に金メダル
		準優勝チーム	男女別に賞状、選手全員に銀メダル
		第3位チーム	男女別に賞状、選手全員に銅メダル
	シングルス戦 (一般・シニア別) (男女別)	優勝	男女別(一般の部・シニアの部)に賞状、金メダル
		準優勝 第3位	男女別(一般の部・シニアの部)に賞状、銀メダル 男女別(一般の部・シニアの部)に賞状、銅メダル
ダブルス戦 (男女別)	優勝組	男女別に賞状(2人)、金メダル(2人)	
	準優勝組	男女別に賞状(2人)、銀メダル(2人)	
	第3位	男女別に賞状(2人)、銅メダル(2人)	
混合ダブルス戦	優勝組	賞状(2人)、金メダル(2人)	
	準優勝組	賞状(2人)、銀メダル(2人)	
	第3位	賞状(2人)、銅メダル(2人)	
陸上競技	各種目 (男女別) 1部・2部別	第1位	男女別に賞状、金メダル
		第2位	男女別に賞状、銀メダル
		第3位	男女別に賞状、銅メダル
	リレー (男女別)	第1位	男女別に賞状、金メダル(4人)
第2位		男女別に賞状、銀メダル(4人)	
第3位		男女別に賞状、銅メダル(4人)	
※男女別団体対抗	第1位	男女別に賞状、持ち回り優勝旗	
	第2位	男女別に賞状	
	第3位	男女別に賞状	
新記録など優秀な記録を出した選手には、男女別に最優秀選手賞としてトロフィー、または楯を授与する			
バレーボール 競技	※優勝チーム(男女別)	男女別に賞状、持ち回りの優勝旗、全員に金メダル	
	準優勝チーム(男女別)	男女別に賞状、全員に銀メダル	
	第3位チーム(男女別)	男女別に賞状、全員に銅メダル	
サッカー競技	※優勝チーム	賞状、全員に金メダル	
	準優勝チーム	賞状、全員に銀メダル	
	第3位チーム	賞状、全員に銅メダル	
	個人賞	最優秀選手賞(1人)、優秀選手賞(ベスト4チームから各1名)	

テニス競技	Aクラス シングルス戦 (男女別)	優勝 準優勝 第3位	男女別に賞状、金メダル 男女別に賞状、銀メダル 男女別に賞状、銅メダル
	Aクラス ダブルス戦 (男女別)	優勝組 準優勝組 第3位	男女別に賞状(2人)、金メダル(2人) 男女別に賞状(2人)、銀メダル(2人) 男女別に賞状(2人)、銅メダル(2人)
	Bクラス ダブルス戦 (男女別)	優勝組 準優勝組 第3位	男女別に賞状(2人)、金メダル(2人) 男女別に賞状(2人)、銀メダル(2人) 男女別に賞状(2人)、銅メダル(2人)
ゲートボール 競技	※優勝チーム 準優勝チーム 第3位チーム	賞状、持ち回りの優勝旗、全員に金メダル 賞状、全員に銀メダル 賞状、全員に銅メダル	
ボウリング 競技	※団体戦 (男女別)	優勝チーム 準優勝チーム 第3位チーム	男女別に賞状、持ち回りの優勝旗、全員に金メダル 男女別に賞状、全員に銀メダル 男女別に賞状、全員に銅メダル
	個人戦 (男女別)	優勝 準優勝 第3位 4位～6位	男女別に賞状、金メダル 男女別に賞状、銀メダル 男女別に賞状、銅メダル 男女別に賞状
	個人戦最高得点者		男女別にHG賞、HS賞
バドミントン 競技	シングルス戦 (男女別) 1部・2部別	優勝 準優勝 第3位	男女別に賞状、金メダル 男女別に賞状、銀メダル 男女別に賞状、銅メダル
	ダブルス戦 (男女別) 1部・2部別	優勝組 準優勝組 第3位	男女別に賞状(2人)、金メダル(2人) 男女別に賞状(2人)、銀メダル(2人) 男女別に賞状(2人)、銅メダル(2人)
	混合ダブルス戦	優勝組 準優勝組 第3位	賞状(2人)、金メダル(2人) 賞状(2人)、銀メダル(2人) 賞状(2人)、銅メダル(2人)
ソフトボール 競技	※優勝チーム 準優勝チーム 第3位チーム	賞状、持ち回りの優勝旗・杯、全員に金メダル 賞状、持ち回りの準優勝杯、全員に銀メダル 賞状、全員に銅メダル	
	個人賞		最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、最優秀打者賞及び敢闘賞
バスケット ボール競技	※団体戦 (男女別)	優勝チーム 準優勝チーム 第3位チーム	男女別に賞状、持ち回りの優勝旗、全員に金メダル 男女別に賞状、全員に銀メダル 男女別に賞状、全員に銅メダル

(2) ※印の前年度優勝チーム（野球のみ準優勝チームにも）に対して、男女別に記念レプリカを授与する。

(※野球、卓球、陸上、バレーボール、サッカー、ゲートボール、ボウリング及びソフトボール、バスケットボール)

(3) 各競技の出場資格で言う「ブロック」とは、財団法人全日本ろうあ連盟の地域組織（加盟団体）を全国9地区(北海道、東北、北信越、関東、東海、近畿、中国、四国、九州)に区分した地域を言う。

### 3. 大会参加資格について

- (1) 役員は、連盟の会員であって、定められた大会参加料を納入した者。また、連盟会員でない健聴者の監督・コーチ等で、大会参加料を納入した者。
- (2) 選手は、連盟の会員であって、定められた大会参加料を納入した16歳以上の聴覚障害者。
- (3) 連盟会員でない聴覚障害者の高校生で、定められた大会参加料を納入した者。加盟団体は参加申込用紙に、その選手の学校名、在学年度を明記しなければならない。

### 4. 大会参加料について

- (1) 選手・役員等の参加に要する費用は、所属団体又は各自において負担する。
- (2) 卓球・テニス・バドミントン競技で、ダブルス戦出場の場合でも、個人参加料は負担しなければならない。
- (3) 選手以外の者(監督・コーチ・マネージャー・スコアラー等競技にかかわる者)は、選手と同額納入するものとする。
- (4) 日本ろう者スポーツ協会役員も個人参加料を納めなければならない。
- (5) 一旦納入した参加料は、大会参加申込締切日以降、理由の如何にかかわらず返金しない。

#### 【個人参加料】

種 目	単 位	参加料
野球 卓球 陸上(1人3種目まで) バレーボール サッカー ゲートボール バドミントン ソフトボール バスケットボール	1人	5,000円
テニス	1人	5,500円
ボウリング	1人	8,000円

#### 【ダブルス】

卓球 バドミントン	ダブルス1組	2,000円
テニス	ダブルス1組	2,500円

※ダブルス種目参加料について、【参考】ダブルス種目のある競技の参加料早見表をご参照ください。

#### 【団体参加料】

種 目	単 位	参加料
野球 サッカー ソフトボール	1チーム	6,000円
卓球 陸上	1チーム	3,000円
バレーボール ゲートボール バスケットボール	1チーム	4,000円
テニス バドミントン	(団体戦なし)	
ボウリング	男子1チーム	16,000円
	女子1チーム	13,000円

#### 【役 員】

		参加料
役員参加※	1人	5,000円

※役員とは、連盟・スポ協役員、参加団体役員及び競技チームの監督・主将・コーチ・マネージャー・トレーナー等を言う。

## 5. 記録発表

競技記録は、大会本部から発表する。陸上競技における大会新記録、日本新記録については、記録証(都道府県陸上競技協会の公印捺印)を発行する。

## 6. 注意事項

### (1) 大会参加申込締切日以降の出場選手の変更について

事故等による選手、監督、コーチ、マネージャー等の変更は、2005年9月23日(金)、監督・主将会議までに登録選手変更届(様式I)を実行委員会に提出すること。FAXによる登録選手変更届や期限を過ぎての提出、また選手の追加は認めない。

### (2) ダブルスのペア編成について(卓球競技、テニス競技、バドミントン競技)

- ① ダブルスのペアが組めないということは、例えば、1加盟団体で選手一人しかいなく、ダブルスの必要条件を満たせない場合をいう。
- ② 他の加盟団体の者とダブルスペアを組む場合、その加盟団体は他の加盟団体の同意を得て、同意書(様式IV)に必要な事項を記入し、大会申し込み締切日までに実行委員会に提出しなければならない。

### (3) 監督・主将会議

- ① 各競技の監督・主将会議を次のとおり開催する。

- 1) 日 時:2005年9月23(金)午前10時~12時
- 2) 場 所:大村市コミュニティセンター

- ② この会議への出席資格は、各競技の監督・主将又はその代理人とし、男女各チームでそれぞれ2名以内とする。

- ③ 抽選会のある競技において監督・主将が共に欠席、あるいは遅刻した場合、原則として出場を取り消したものとみなす。やむを得ず代理人が出席する場合は、監督・主将会議の前日までに、監督・主将が作成した委任状(様式II)を実行委員会に提出しなければならない。

### (4) ゼッケン

※競技別実施要項を参照。

### (5) 競技会場への入場

- ① 競技会場への入場は、係役員の指示に従うこと。
- ② 競技会場へ入場できる者は、競技役員、補助員等競技運営に関わる者、選手、指定された実行委員及び手話通訳等、の許可を受けた者に限る。

### (6) 開会式への参加について

今回の大会では、開会式会場が小規模なため、参加者対象者を下記のとおり制限致します。

- ① 監督・主将会議出席者は、全員参加していただきます。
- ② 上記会議に出席しない選手・役員のうち、希望者は別途申込用紙にて、あらかじめ開会式参加を申し込まれてください。実行委員会で抽選の上、お知らせ致します。

## 7. 競技についての諸注意

- ① 全競技において、不時の負傷又は病気については、応急手当以外は主催者で行わない。
- ② 競技中の負傷や病気を未然に防ぐために、選手は日頃の健康管理に努め、また、競技前に準備運動を丹念に行うこと。
- ③ 選手は必ず健康保険証を持参すること。
- ④ 荒天時における競技実施態勢については、主催者において決定する。
- ⑤ 競技進行中に起きた競技者の行為又は順位の設定に関して異議ある場合は、その競技者又は代理人から文書又は口頭で、直ちに申し出ることができる。これについては、審判長が判定し、その決定は最終的なものである。
- ⑥ 各競技規則で競技服装について定められている場合は、その服装で競技すること。
- ⑦ 各競技会場となる施設の利用にあたっては、上履き・下足の区別等、使用ルールに従うこと。
- ⑧ 貴重品や身の回りの物は、自己の責任で保管するか、あるいは加盟団体に管理すること。

(様式 I)

年 月 日

第 39 回全国ろうあ者体育大会  
実行委員長 村上一男 様

団 体 名 \_\_\_\_\_

体育部名 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

## 登録選手変更届

第 39 回全国ろうあ者体育大会 \_\_\_\_\_ 競技の登録選手を下記のとおり変更しますので、ここにお届けします。

**【登録抹消】** 氏 名 \_\_\_\_\_ ( 男 ・ 女 ) 年 齢 (            )

背・ゼッケン番号 \_\_\_\_\_

守備位置 \_\_\_\_\_

**【新規登録】** 氏 名 \_\_\_\_\_ ( 男 ・ 女 ) 年 齢 (            )

背・ゼッケン番号 \_\_\_\_\_

守備位置 \_\_\_\_\_

以 上

※ 監督・主将会議以降の変更届出は認めない。  
9月22日(木)15:00までに実行委員会へ届出厳守とする。

(様式Ⅱ)

年 月 日

第 39 回全国ろうあ者体育大会  
実行委員長 村上一男 様

団 体 名 \_\_\_\_\_

役 職  
(監督・主将) \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

## 委 任 状

私は、第 39 回全国ろうあ者体育大会 \_\_\_\_\_ 競技の監督・主将会議に出席できませんので、つぎの者を代理人に指名し、権限を委任します。

代理人氏名 \_\_\_\_\_

以 上

(様式Ⅲ)

年 月 日

第 39 回全国ろうあ者体育大会  
実行委員長 村上一男 様

団 体 名 \_\_\_\_\_

体育部長名 \_\_\_\_\_ 印

## 監督・コーチ 変更届

第 39 回全国ろうあ者体育大会 \_\_\_\_\_ 競技の監督・コーチを下記のとおり変更します  
ますので、ここにお届けします。

監 督                      コ ー チ

※どれかを○で囲むこと。

**【登録抹消】** 氏 名 \_\_\_\_\_ ( 男 ・ 女 ) 年 齢 (                      )

背・ゼッケン番号 \_\_\_\_\_

**【新規登録】** 氏 名 \_\_\_\_\_ ( 男 ・ 女 ) 年 齢 (                      )

背・ゼッケン番号 \_\_\_\_\_

- ※ 背・ゼッケン番号を要する場合、記入すること。
- ※ 監督が選手兼任の場合、選手変更届も一緒に提出すること。
- ※ 監督・主将会議以降の提出は認めない。  
9月22日(木)15:00までに実行委員会へ届出厳守とする。

以 上

年 月 日

第 39 回全国ろうあ者体育大会  
実行委員長 村上一男 様

団 体 名 \_\_\_\_\_

体育部長名 \_\_\_\_\_ 印

監 督 名 \_\_\_\_\_ 印

主 将 名 \_\_\_\_\_ 印

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

## ダブルス組み合わせ同意書

私は、第 39 回全国ろうあ者体育大会 \_\_\_\_\_ 競技のダブルス戦に、下記選手と  
組み合わせることをお届けします。

1. 出場するダブルス種目 (どれかを○で囲むこと)

- ① (      ) 男子ダブルス戦
- ② (      ) 女子ダブルス戦
- ③ (      ) 混合ダブルス戦

2. 組み合う選手氏名

① 氏 名 \_\_\_\_\_ ( 男 ・ 女 )

② 所属協会 \_\_\_\_\_

## < 監督・主将会議の会場案内 >

※開会式と同じ会場です。

大村市コミュニティセンター  
〒 856-0836 長崎県大村市幸町 25-33  
TEL. 0957-20-7200  
FAX. 0957-20-7203

### ■交通アクセス

- ◎国道 34 号線沿い大村市役所北側
- ◎長崎空港から車で 10 分
- ◎ JR 大村駅から車で 5 分
- ◎長崎自動車道大村 IC から車で 10 分
- ◎県営バス寿町バス停  
市役所前バス停より徒歩 3 分



## 4. 競技別実施要項及び注意事項・本大会申し合わせ事項

1. 第 51 回軟式野球競技実施要項
2. 第 39 回卓球競技実施要項
3. 第 37 回バレーボール競技実施要項
4. 第 36 回陸上競技実施要項
5. 第 25 回サッカー競技実施要項
6. 第 24 回テニス競技実施要項
7. 第 19 回ゲートボール競技実施要項
8. 第 18 回ボウリング競技実施要項
9. 第 13 回ソフトボール競技実施要項
10. 第 13 回バドミントン競技実施要項
11. 第 6 回バスケットボール競技実施要項

# 1. 第51回軟式野球競技実施要項

## 1. 競技種目

軟式野球競技とする。

## 2. 競技規則

大会開催年度の公認野球規則および(財)全日本軟式野球連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項による。

## 3. 出場資格

- ① ブロック予選大会において、優勝・準優勝の各1チームに開催地元チーム1チームを加えた計19チーム以内とする。なお、開催地チームが予選大会において優勝又は準優勝の場合は、地元開催チームの権利を失うものとし、出場チーム数は18チーム以内になるものとする。
- ② 但し、優勝・準優勝チームが本大会に出場できない場合は、当該ブロックの協議により、代替チームが出場できるが、代替チームに関する責任は代替チームを選出した当該ブロックが全て負う。
- ③ 出場するチームは1チームで、当該ブロック内の他のチームから選手を2名以内で補強することができる。
- ④ 最低チーム数は16チームとする。但し、16チーム未満の場合は前年度予選大会での各ブロック内のチーム数の多い順から1チームずつ推薦する。この配分順は大会年度の前年度日本ろう者スポーツ協会全国委員会で抽選等により決定する。(13. その他の⑤)に注意)

## 4. チームの編成

- ① 1チームの編成は、監督を含む選手20名以内とする。
- ② コーチまたはマネージャー、スコアラーが選手として出場することはできるが、選手として出場する場合は、20名の範囲内で登録しなければならない。
- ③ 監督の背番号は30番、主将の背番号は10番とする。

## 5. 競技方法

- ① 全試合トーナメント方式による。
- ② 試合は7回戦とし、正式試合となる回数を4回とする。
- ③ 得点差および時間制限によるコールドゲームを採用する。
- ④ 得点差によるコールドゲームは、正式試合回数以降7点差が生じた場合とする。
- ⑤ 時間制限によるコールドゲームは、1試合の時間を1時間45分とし、1時間45分を過ぎて新しいイニングには入らないものとする。よって、1時間45分を正式試合の時間とし、試合は成立したものとする。また、ゲーム中断等によるロスタイム等の計測については、担当審判員の判断により実施するものとする。
- ⑥ 7回を終わって同点、もしくは時間制限によるコールドゲーム時に同点の場合は、次項の特別ルール(決勝戦も同様)による延長戦を1回実施する。

**【特別ルール】** 継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁・3塁の走者は、順次前の打者(投手を含む)として、1死満塁の状況により1イニング行ない得点の多いチームを勝者とする。

- ⑦ 特別ルールによる延長戦を実施しても勝敗が決しない場合は、抽選により勝敗を決定する。
- ⑧ 決勝戦の場合、下記事項にて実施する。
  - (1) 得点差および時間制限によるコールドゲームを採用しない。
  - (2) 9回戦とし、正式試合となる回数を5回とする。
  - (3) 9回を終わっても同点の場合は、11回まで延長戦を行う。
  - (4) 延長戦でも勝敗が決しない場合は、特別ルールによる特別延長戦を実施する。(この場合、原則として

勝敗が決するまで特別延長戦を繰り返すものとする。

- ⑨ 競技会において、雨天等の事情により大会日程等を縮小する必要がある場合は、大会役員・審判団・該当チーム監督等の協議により運営実施するものとする。
- ⑩ 大会の使用球は、(財)全日本軟式野球連盟公認 A 号ボールとし、ボールのメーカーについては主管団体において決定する。(本大会はナガセケンコーボールとする。)

## 6. 用具等

競技に使用する用具については、(財)全日本軟式野球連盟競技規則に定められたものとする。なお、打者および走者は、ヘルメットを着用しなければならない。また、守備中の捕手は、ヘルメットおよびレガースを着用しなければならない。

## 7. 打順表(オーダー表)提出について

- ① 第1試合の場合は、試合開始予定時間の30分前に主将が提出する。この場合、原本と照合の後、審判員立会いのもとに攻守の決定を行う。
- ② 第2試合以降は、前の試合の4回終了時に主将が提出し攻守の決定を行う。
- ③ その日の試合が、Wヘッダー(前の試合終了後30分前で試合開始)となる場合の第2試合については、本部の指示により提出する。
- ④ 打順表の用紙(5部複写)は、監督・主将等合同会議で配布するので、事前に受領する。
- ⑤ 打順表の選手については、必ずフリガナをつけること。

## 8. 抗議について

試合中に、抗議ができる者は、監督または主将・当該プレイヤーである。

## 9. 監督・主将会議

- ① 監督・主将会議において、大会の組合せ抽選会を行う。
- ② 組合せ抽選会における本抽選のくじ引き順を決定する予備抽選を引く順番は、同会場での出席受付順に行う。
- ③ 準決勝までは、そのブロックに属するチーム同士の対戦は行わない。
- ④ 3の出場資格④によって推薦されたチームは、1回戦からそのチームの属するブロックのチームと対戦を行わない。

## 10. 表彰

- ① 表彰式は、決勝戦終了後、閉会式にて行う。
- ② 個人表彰は、最高殊勲選手賞・最優秀投手賞・首位打者賞・敢闘賞とする。首位打者賞は、ベスト3チームの全試合を選考基準対象とし、規定打席(12打席以上)を設けて最高打率によるものとする。

## 11. 開会式、始球式について

開会式は実施しないが、状況により始球式を実施する場合があるので、チームは会場本部の指示に従うこと。

## 12. 雨天の場合の連絡等について

- ① 雨天でも試合を行う場合がある。また、午前中は試合を見合わせて、午後から行うこともあるので、大会本部からの連絡に注意すること。なお、当日試合不可能な場合は、大会本部より各チームへ連絡する。
- ② 雨天でも試合を行う場合、落雷がないとも限らないので、木製バットも用意しておくこと。

### 13. その他

- ① 試合中ベンチに入ることのできる者は、指定された大会係員および登録された監督・選手 20 名とチーム代表者 1 名・スコアラー 1 名・マネージャー 1 名とする。
- ② 試合開始予定時刻の 40 分前までには会場に到着し、会場本部席に到着の報告を行うこと。なお、集合時刻に遅れたチームは、原則として棄権とみなす。試合開始予定時刻より早くゲームを行える場合も考えられるので、十分余裕を持って行動すること。
- ③ ベンチは、組合せ番号の若いチームを 1 塁側とする。
- ④ ゲーム前の公式練習(シートノック・フィールドイング)は 5 分間とする。但し、天候・時間の状況等により中止または短縮する場合がある。ノッカーも選手と同様のユニフォームを着用のこと。
- ⑤ 実行委員会は、大会参加申込締切直後の参加チームが 16 に満たない場合、すぐ日本ろう者スポーツ協会事務局にその旨を伝えること。

### 14. 本要項改正

- ・一部改正 2004 年 2 月 22 日 第 6 回全国委員会

## 2. 第 39 回卓球競技実施要項

### 1. 競技種目

団体戦:男子団体・女子団体

個人戦:男子シングルス (一般の部・シニアの部)  
女子シングルス (一般の部・シニアの部)

ダブルス戦:男子ダブルス・女子ダブルス・混合ダブルス

### 2. 競技規則

大会開催年度の日本卓球ルール及び本大会申合せ事項による。

### 3. 出場資格

- ① 団体戦については、男女とも 1 加盟団体 1 チームとする。
- ② 個人戦に出場する場合、一般の部とシニアの部のいずれかに出場するものとする。
- ③ 個人戦(男女シングルス)のうち一般の部は年齢制限がないが、シニアの部は男子は40歳以上、女子は35歳以上とする。
- ④ 個人戦(男女シングルス)、ダブルス戦は参加制限をしない。但し、団体戦に登録した選手はダブルス戦に出場できない。
- ⑤ 加盟団体内でダブルスのペアが組めない場合、大会競技実施要項規定の6(2)により他の加盟団体の者と組むことが出来る。

### 4. チームの編成

男女とも、監督1名、選手 3～5 名、コーチ 1 名を登録することができる。

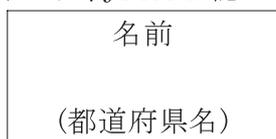
### 5. 競技方法

- ① 団体戦は参加数により、以下の方法で行う。
  - ・7 チーム以上はトーナメント方式。
  - ・6 チームの場合、AとBブロックに分けた予選リーグ戦とし、各ブロック1位チームが決勝戦、2位チームが3位決定戦を行う。
  - ・5 チーム以下の場合には総当りリーグ戦とする。
- ② リーグ戦の順位決定は勝者 2 点、敗者 1 点、棄権 0 点で得点計算をして決定する。(現行日本卓球ルールによる)
- ③ 勝敗の決定は、11 点 5 ゲームマッチ(3 ゲーム先取勝)とする。
- ④ 順位決定は勝者 2 点、敗者 1 点、棄権 0 点で得点計算をして決定する。
- ⑤ 団体戦は、男女とも世界選手権の団体戦方式とし、3名のシングルスによって試合を行い、男女とも3点先取とする。

A	B	C	A	B
X	Y	Z	Y	X
- ⑥ 個人戦及びダブルス戦についても、11 点 5 ゲームマッチとする。
- ⑦ 個人戦、ダブルス戦ともトーナメント方式で行う。但し、個人戦のシニアの部は参加状況により、競技方法を変更することがある。(決定は競技主管で行う)

## 6. 競技服装等

- ① ラケットの両面は、異色(赤・黒)でなければならない。
- ② ゼッケンは、JTТА 公認のゼッケンか、下図の様式の通り作成し、背部に着用すること。



縦 21cm 横 28cm

※日本卓球ルールにより、サイズは 600 cm<sup>2</sup>以内であること。

## 7. 使用球

ボールは JTТА 公認の 40 ミリボールを使用する。  
(使用球のメーカー、色は主管協会が決めるものとする。)

## 8. 組み合わせ方法

- ① 団体戦の組み合わせは、監督・主将会議において、もしくは参加申し込み締め切り後、実行委員会と競技主管団体、技術委員、審判長の立会いのもとで、代理抽選により決定する。
- ② 個人戦とダブルス戦の組み合わせは、参加申し込み締め切り後、①と同様のもとで、代理抽選により決定する。
- ③ シードは下記の通りとする。シード並びは現行日本卓球ルールに従うこと。  
男女団体戦…前回ベスト 4 まで  
男女個人戦…前回ベスト 16 まで  
男女混合ダブルス…前回ベスト 4 まで(但しパートナーの変更は不可)  
個人戦…各種目ともひとつのエリアに同じブロック選手、または同じ加盟団体選手が集中しないよう、配慮すること。

## 9. 表彰

種目ごとに、競技終了後、表彰を行う。

## 10. 注意事項

- ① 団体戦及びシングルス及びダブルスの参加申し込みについては、備考欄に戦歴を記入のこと。
- ② 競技進行はタイム・テーブルによって行うので、各自の出場時間及びコートを予め確認しておくこと。
- ③ 団体戦のオーダーは、第1試合は〔 〕時(監督・主将会議にて決定)、第 2 試合以降は対戦チームが決定次第直ちに提出すること。
- ④ その他については、大会本部又は競技役員の指示に従うこと。

## 11. 本要項の改正

- ・一部改正 2004 年2月 22 日 第6回全国委員会
- ・一部改正 2005 年2月 27 日 第 7 回全国委員会

## ジェスチャーの統一（主審）

主審は下図のようなジェスチャーで審判を行い試合を進めて下さい。

ポイント



タイム



サーブミス



レット



サイド



エッジボール  
(セーフ)



ジャンケン



始まる



終わる



### 3. 第37回バレーボール競技実施要項

#### 1. 競技種目

バレーボール6人制競技(男子及び女子の2種目)とする。

#### 2. 競技規則

大会開催年度の(財)日本バレーボール協会6人制競技規則及び本大会申し合わせ事項による。ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。

#### 3. 出場資格

男女とも、加盟団体単位で1チームとする。但し、加盟団体単位でチームを編成できない場合は当該ブロックに限り、連合チームを編成することができる。方法として単独チームを組むチームに加入、また単独チームを編成できない加盟団体同士がチームを組んでもよい。この場合、後者については、連合であることが明確なチーム名にすること。

#### 4. チームの編成

- ① チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名の計15名以内とする。
- ② 監督、コーチ、又はマネージャーが選手を兼ねる場合は選手名簿にも登録されていなければ選手として出場できない。

#### 5. 競技方法

- ① 競技は、トーナメント方式によるものとする。但し、参加チームが少ないときは、予選リーグを行った後、勝ち残ったチームによる決勝戦によるトーナメント戦を行う。
- ② 全試合3セットマッチとする。

#### 6. 使用球

(財)日本バレーボール協会検定18枚張り5号球カラーボールを使用する。

※ボールメーカーは実行委員会で決定する。

#### 7. 組み合わせ

組み合わせは、監督・主将会議において抽選により決定する。なお、1次予選ではそのブロックに属する加盟団体チーム同士の対戦は行わない。また男女とも前回優勝・準優勝チームはシードする。

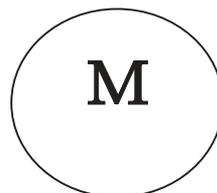
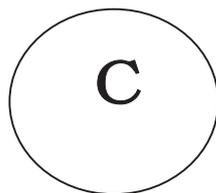
#### 8. 開始式・表彰式

- ① 開始式は、大会1日目の試合開始前に行う。
- ② 表彰式は決勝戦終了後に行う。
- ③ 統一服装で参加すること。

#### 9. 注意事項

- ① 試合開始前・セット間及び終了後の手順は別表プロトコールのとおりとする。
- ② 試合開始は、特に時間の指定のあるものを除き、追い込み方式で行う。なお、同チームの試合が連続する場合は15分間の休憩の後プロトコールに入る。
- ③ オーダー用紙は、キャプテンがトスをするとき提出する。
- ④ 公式練習からはエントリーされた者だけが競技場に入場できる。

- ⑤ 負傷の原因となるピン、指輪、腕輪、かぶりもの、その他金属装身具等を身につけて競技してはならないが、眼鏡は自分の責任において使用する。
- ⑥ 主将は、ジャージ色と異なった色の幅 2cm、長さ 8 cmのマークをユニフォームの胸部の番号の下に明確に付けること。
- ⑦ 監督・コーチ・マネージャーは下記のマークを左胸部に付けること。マークの大きさは直径6cm程度で各チームが準備すること。



#### 10. 本要項の改正

- ・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会

## (別表) プロトコール (試合開始前・セット間及び終了後の手順)

6人制 (セット用)

(試合開始前)

試合前	チーム	主 審	副 審
	両審判員のネット等のチェック時はネットを使用せずにウォーム・アップすることができる。	両審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置及びサイド・バンドの位置をチェックする。	
11分前	キャプテンは、トスのために記録席へ行く。トスの後、記録用紙にサインする	主審は、記録席で副審を立ち会わせてトスを行う。副審は、両チームのキャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。	
10分前	両チーム一緒か、または個別に (サービス権を得たチームから) 公式ウォーム・アップをする。	主審は、公式ウォーム・アップ開始を吹笛で合図する。そしてボール、スコア・シート、ブザー、ユニフォームなどゲームに必要な用具をチェックする。ラインズマン、ボール・リトリバー、モップと打合せを行う。副審は、公式ウォーム・アップの計時を行う。	
7分前	個別に公式フォーム・アップを行っている場合は、交替する。	副審は各チームが個別に公式フォーム・アップを行っている場合はその交替を吹笛で合図する。	
4分前	公式フォーム・アップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチに戻る。	主審は、公式フォーム・アップの終了を吹笛で合図する。	
3分前	全プレーヤーは、エンド・ライン上に整列する。主審の吹笛と合図でネット付近で最初に両キャプテンが握手する。そして、チーム・メンバーが続いて握手する。その後各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティング・プレーヤーは、ユニフォーム姿で待機する。	主審は両チームのプレーヤーをエンド・ライン上に導く。主・副審は審判台の前で、ネットをはさんで記録席側から見て左側に主審、右側に副審が位置する。両チームが整列したら、挨拶 (握手) をかわすように吹笛で合図する。審判役員はそれぞれの位置に着く。副審は、サービス・ゾーンの右側に位置しているボール・リトリバーにボールを1ずつ送る。	
1分 30秒前	主審の吹笛と合図で、スターティング・プレーヤーはベンチから直接コートに入る。	主審は吹笛で合図をして、プレーヤーをコート内へ導く。副審および記録員はそれぞれスターティング・ライン・アップを照合する。その後副審は、ボールを最初のサーバーに送る。	

0分前	最初のサーバーはサービス許可の吹笛によりサービスを行う。主審はサービス許可の吹笛をする。	
-----	--	--

(セット間)

	チーム	主 審      副 審
セット終了後	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンド・ライン上に整列する。プレーヤーは、主審の吹笛の合図で、右側のサイド・ラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに戻る。	主審は、プレーヤーがエンド・ライン上に整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分 30秒前	プレーヤーは、副審の合図により、ベンチから直接コートに入る。	副審は、記録員の合図を受けて両チームにコートに入るよう吹笛で合図する。その後、直ちにスターティング・ライン・アップを照合する。

(第3セットのコートチェンジ)

	チーム	主 審      副 審
いずれかのチームが13点目を先取した時	主審の吹笛とシグナルの合図で、コート上のプレーヤーはそのままの位置から向かって右の支柱の外側をまわり、コートを交替する。	主審は13点目の吹笛後、両チームにコートを交替するよう、吹笛とシグナルで合図する。

(試合終了後)

	チーム	主 審      副 審
速やかに	試合が終了したら、コート上のプレーヤーはエンド・ライン上に整列し、主審の吹笛でネットに近づき相手チームと挨拶（握手）を交わす。キャプテンは、主審と副審に感謝の握手をする。そして、記録用紙にサインする。チームは直ちにベンチから退出する。	主審は、コート上のプレーヤーをエンド・ライン上に整列させる。主審は審判台を降り、副審が審判台右側の定位置に着いたら吹笛と合図で両チームに挨拶（握手）をさせる。そして両チームのキャプテンを伴って記録席に行き、記録用紙にサインをさせ、その後、記録員の記録用紙への記入を完了させる。

(注) 個々の大会において必要と認めた場合は、プロトコールの下記の点を変更してもよい。

1. ボール1個による試合の場合は、ボール・リトリバーに関するプロトコールを省略する。
2. ボール1個による試合の場合は、副審は、セット間の中断、コートの変替、およびタイム・アウトの時にボールを保管し、試合再開時にサーバーに渡す。

## 4. 第 36 回陸上競技実施要項

### 1. 競技

陸上競技とする。

### 2. 競技規則

大会開催年度の(財)日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によるものとする。

### 3. 種目

一部と二部(壮年の部)に区別する。種目は一部も二部も共通。

#### ① 男子の部(16種目)

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、110m ハードル、4×100m リレー、4×400m リレー、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(7.26kg)、やり投(800g)、円盤投(2kg)

#### ② 女子の部(10 種目)

100m、200m、400m、1500m、5000m、4×100m リレー、走高跳、走幅跳、砲丸投(4kg)、やり投(600g)

### 4. 出場資格

① 男女とも、一部は 39 歳以下、二部は 40 歳以上とする。但し、40 歳以上でも一部に出場することができる。

② 1 人あたりの出場種目はリレーを除いて 3 種目以内とする。

### 5. 競技方法

(1)個人及び団体対抗(男女別総合で一部のみ)とする。

(2)団体対抗の得点は、1 位 6 点、2 位 5 点、3 位 4 点、4 位 3 点、5 位 2 点、6 位 1 点とする。

### 6. 表彰

① 表彰式は種目ごとにレース終了後行うので、第 3 位までの入賞者は、レース後すぐ本部表彰控所へ集合すること。

② 優秀な記録を出した選手には、最優秀選手としてトロフィー又は盾を授与する。

### 7. 参加申込み

出場する場合、陸上個票に1種目毎に氏名・加盟団体名・自己の最近記録を明記し、参加申込書(大会指定の用紙による)に添えて申し込む。

### 8. 注意事項

#### ① 競技場への立ち入り

競技場へは、競技役員、補助員、出場中の選手、実行委員、手話通訳者及び許可を得た報道関係者以外は立ち入ることができない。

#### ② 更衣室について

貴重品・衣類の盗難防止のため、更衣室では衣類を着替えるだけとし、衣類、バック等を置かないこと。衣類などは各加盟団体において保管する。

#### ③ 練習について

競技役員の指示に従って行う。

④ 招集について

- 1) 招集場所は、トラックの第4コーナー付近に設置する。
- 2) 招集の開始及び完了の時刻は下図のとおりとする。

競技の種目	招集開始時間	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻 30 分前	競技開始時刻 20 分前
フィールド競技	競技開始時刻 40 分前	競技開始時刻 30 分前

- 3) 招集の点呼を済ませた人は、招集所で待機しなければならない。代人による点呼は認めない。
- 4) 招集完了時刻に遅れた選手及び招集完了時に招集場所にいない選手は、棄権したものとみなす。
- 5) 招集場所から競技場へ移動、または競技場から退場するとき、係員が案内するので、係員の指示に従う。
- 6) 3種目同時に出場する人は、その旨本人(代人でも可)が招集終了時まで申し出る。
- 7) リレー出場チームは、招集1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出する。

⑤ 入場

競技者係にナンバーカードの確認を受けた後、係員の誘導で競技場に入る。

⑥ 走路順及び試技順

トラック競技の走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順序とする。予選をしたトラック競技の決勝の走路順は主催者が公正に抽選し、その結果は予選終了後、招集所に掲示する。

⑦ バーの上げ方

走高跳のバーの上げ方は次のとおりである。

回数		練習	1	2	3	4	5	6	7・8・9
高さ	男子一部	1.40	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	これ以上は3cmずつ
	女子	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	これ以上は3cmずつ
	男子二部								

※注意：1位決定の際のバーの上げ下げは、男女とも2cmとする。

⑧ 用具

- 1) 砲丸投の砲丸は、男子は7.26kg、女子は4kgの鉄又は砲金を使用する。
- 2) 円盤投は、男子2kgを使用する。
- 3) やり投の槍は、男子は800g、女子は600gを使用する。
- 4) 靴は日本陸上競技連盟規則に定められた規格のものを使用すること。なお、スパイクシューズを使用する場合は、全天候型の針を使用し、トラックは9mm以下、走高跳及び槍投については12mm以下とする。

⑨ 競技服装

- 1) 競技を行うときは競技服装(ランニングシャツ等)を着用する。
- 2) ナンバーカードは、実行委員会が交付したものを使用し、競技服装の上衣の胸部及び背部に安全ピンで留める。ただし、走高跳に出場する者は、胸部又は背部のいずれか一方でよい。
- 3) トレーニング中又は競技中に、一般に認められた団体の名称以外の広告を付けたものを競技場内に持込むことは、日本陸上競技連盟競技規則に抵触するので厳に慎む。

9. 本要項の改正

- ・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会

## 5. 第 25 回サッカー競技実施要項

### 1. 競技種目

サッカー競技とする。

### 2. 競技規定

大会開催年度の(財)日本サッカー協会規定の「サッカー競技規則」及び本大会申合せ事項による。

### 3. 出場資格ならびにエントリー、代表枠の確定

- ① 加盟団体単位に編成したチームとする。ただし、加盟団体単位にチームを編成できない場合は、当該ブロック内に限り、連合チームを編成することができる。
- ② 所属ブロック内にサッカーチームがない場合に限り、他ブロックのチームに加入することができる。
- ③ ブロック代表枠について
  - 1) 本大会の出場チーム数は、地元代表チームを含めて 16 チーム以内とする。
  - 2) 代表枠の決定方法は、次の順序による。
    - (ア) ブロックの第 1 代表(原則として優勝チーム)及び開催地元チーム、各ブロックの第 2 代表(原則として準優勝チーム)を優先する。
    - (イ) 上記によっても 16 チーム未満の場合は、前年度予選大会参加チーム数が多いブロック順に 1 チームずつ推薦する。この配分順は大会年度の前年度日本ろう者スポーツ協会全国委員会での抽選等により決定する。(16. その他(6)②に注意)
    - (ウ) 上記 2) の規定にかかわらず、出場できるのは 1 都道府県につき、1 チームを原則とする。(例外として、北海道は 1 ブロックとして複数チームの出場が認められる)
- ④ エントリー方法
  - 1) 本大会への出場を希望するチームは、ブロック代表枠が確定しない段階にも関わらず、規定の締切日までに実行委員会にエントリーすること。エントリーが締め切られたあとでブロック代表枠が確定するので、その段階で出場権の有無を決定する。
  - 2) 前記代表枠が決定次第、出場可否を速やかに全チームに連絡するとともに、出場権が得られなかったチームに対してはチーム参加費を返還する。

### 4. チームの編成

1 チームの編成は、監督・コーチ・マネージャーを含めて、22 名以内とする

### 5. 競技方法

競技は、3 チーム以上の参加により実施する。原則的にトーナメント方式により優勝以下 3 位までを決定する。ただし、出場チームが少ない場合はリーグ戦とすることがある。試合時間は 70 分とし、ハーフタイムのインターバルは、10 分とする。勝敗が決しない場合は、PK 方式により勝者を決定する。ただし、決勝戦のみ 20 分の延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合は PK 方式により勝者を決定する。

### 6. リーグ戦の順位決定について

- ① 勝ち点の合計(勝ち 2 点、引き分け 1 点、負け 0 点)
- ② 得失点差の多い順
- ③ ゴールアベレージ
- ④ 当該チーム間の対戦成績

## 7. 使用球

試合球は、(財)日本サッカー協会公認 5 号球とする。

## 8. 組み合わせ抽選

監督・主将会議において、抽選を行う。本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は、同会議への出席受付順とする。

## 9. 競技者の交代

交代については、試合開始前に登録した 9 名の交代要員の中から 5 名までの交代が認められる。

## 10. 警告・退場者の取り扱い

退場を命じられた選手は、次の 1 試合もしくは 2 試合に出場することができない。  
処分(1 試合又は 2 試合)は試合終了後、規律委員会で決定し、チームに通告する。

## 11. 危険物

競技中は、メガネおよび補聴器の装着を認めない。

## 12. ユニフォーム

- ① 参加申込書に登録されたものを原則とし、参加申込書送付後の変更は認めない。  
なお、選手番号の変更も認めない。
- ② 正のユニフォームの他、異なる色のユニフォーム(副)を参加申込書に記載し、試合には必ず正副のユニフォームを携行すること。(GK も正副揃える)
- ③ 選手番号は必ず参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。  
【ユニフォームに取り付ける選手番号について】
  - ・シャツの背中 高さ 25 cm  
シャツの前面 右側・左側・中央に高さ 10cm  
パンツの右側又は左側に高さ 8cm(シャツの番号と同一)
- ④ 試合におけるユニフォームの決定は、両チーム立ち会いのもとで、主審が正副の中から色を組み合わせて決定する。
- ⑤ サーマルアンダーショーツ(スパッツ)を着用する場合は、パンツの主な色と同色とする。

## 13. 審判の合図

フリーキック、PK、プレースキックで、キッカーに蹴らせるタイミングを知らせる笛の代わりに、笛がなり始めてから終わるまでの間、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。

## 14. 表彰

表彰は決勝戦終了後、閉会式において行う。

個人表彰は、「最優秀選手賞」(1名)・「優秀選手賞」(ベスト 4 のチームから各 1 名)とし、選考は競技主管である開催地のサッカー協会が行う。

## 15. 本大会は、テクニカルエリアを設ける。

テクニカルエリアの使用について、チーム役員は、その都度 1 名がテクニカルエリアから戦術的指示を与えることが出来る。指示を伝えたら所定の位置に戻らなくてはならない。全てのチーム役員は、その中に止まっていなければならないし、責任ある態度で行動しなければならない。

## 16. 審判補助員の配置

ゴール裏斜めの位置に、旗を持った補助員 1 名(計 2 名)を置く。

## 17. 注意事項

### (1)メンバー表の提出

メンバー表は 3 部複写とし、3 部提出し確認を受けること。1 部はチーム控えとして返却する。メンバー表、交代用紙は監督・主将会議にて配布する。第 1 試合については、試合開始予定時間の 40 分前に競技本部に提出すること。以降の試合については、前の試合のハーフタイム時に提出すること。試合に勝ったチームは、試合終了後に次の試合のメンバー表を競技本部まで取りにくること。

### (2)交代用紙

交代用紙は 5 枚配布する。用紙には、時間、選手名(フルネーム)、監督のサインを記入すること。

### (3)チーム・ベンチ

① 第 4 審判員席からグラウンドに向かって左側のベンチは組み合わせの左側のチームが、右側ベンチは組み合わせの右側のチームが使用する。

② テクニカルエリアに設置されたベンチには、11 名が着席出来る。

### (4)練習時間

グラウンドでの練習は、試合開始 20 分前より 10 分前とする。ただし、大会運営上支障があるときは、変更することがある。

### (5)競技の組み合わせ

組み合わせ方法は競技実施要項にもとづくものとするが、最終的には参加申し込みチーム数に応じて、主催者と競技主管が協議して決定する。前大会の成績によるシード制を採用することがある。

### (6)その他

① 注意事項は、チーム全員に徹底しなければならない。

② 実行委員会は大会参加申込締切後、参加チームが 16 に満たない場合、すぐ日本ろう者スポーツ協会事務局にその旨を伝えること。

## 18. 本要項の改正

・一部改正 2004 年 2 月 22 日 第 6 回全国委員会

・一部改正 2005 年 2 月 27 日 第 7 回全国委員会

## 〔本大会申合せ事項〕

1. ユニフォームの決定は、1 回戦は監督・主将会議で行う。2 回戦以降は、メンバー表交換の場で決める。

## 6. 第24回テニス競技実施要項

### 1. 競技種目

Aクラス・Bクラスごとに分けて、下記種目を行う。

#### ①Aクラス

シングルス戦：男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦：男子ダブルス・女子ダブルス

#### ②Bクラス

ダブルス戦：男子ダブルス・女子ダブルス

### 2. 競技規定

大会開催年度の(財)日本テニス協会のテニス競技規則及び本大会申合せ事項によるものとする。

### 3. 出場資格

- ① 出場人数について、加盟団体毎に制限を設けない。
- ② 選手はAクラスかBクラスか、どちらかを選択する。両クラス同時出場はできない。
- ③ Aクラスでシングルス・ダブルスの単数、複数出場は出来る。
- ④ Bクラスを選択する者で、最近過去2年の全国ろうあ者体育大会Aクラス・シングルスでベスト16以上の者は該当しない。
- ⑤ 加盟団体内でダブルスのペアが組めない場合、大会競技実施要項規定6(2)により、当該ブロックの他加盟団体の者と組むことができる。それでも組めない場合は、ブロック枠を越えて組むことができる。

### 4. 競技方法

- ① Aクラス(男女各シングルス、男女各ダブルス)はトーナメント方式とする。但し、参加状況によりリーグ戦とすることがある。
- ② Bクラス(男女各ダブルス戦)は予選リーグと決勝トーナメント方式とする。但し、参加状況によりリーグ戦とすることがある。
- ③ 1試合1セットマッチ6オールタイムブレーク(6-6・7)とする。但し参加状況により、1試合3セットマッチ(最終セットはアドバンテージ・セット)

### 5. 使用球

- ① 公認ボールを使用する。(ダンロップ・フォート、イエロー)
- ② 試合終了後、その試合で使用したボールは、敗者に授与することとする。

### 6. 組み合わせ

- ① 参加申し込み締め切り後、実行委員会において、審判長立ち会いのもとで代理抽選により決定する。
- ② シングルスは男女とも前回ベスト8の上位4名は端シードとし、残りは中央シードとする。  
ダブルスは男女とも前回ベスト4をシードとする。  
ただし、シングルス、ダブルスともシード権を持つ選手および組み両選手が不参加の場合は空白(Bye)とする。

## 7. 表彰

各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。

## 8. 注意事項

(1)試合進行は、オーダーオブプレーにより行うので、選手は各自の責任で試合時間、試合コートを確認すること。

(2)次の試合の選手は、割り当てられたコートの後方で待機すること。試合開始に間に合わなかった場合は JTA ルールに従い、処理する。

(3)ウォーミングアップは3分以内とする。ただし、試合の進行状況によってはサーブ4本のみとする場合がある。

(4)競技サインについて

### ① ポイント

ア)0(ラブ) 指全部で0をつくる。(指文字の「お」)

イ)15(フィフティーン) 1とし、人差し指を1本立てる。

ウ)30(サーティー) 2とし、人差し指と中指の2本を立てる。

エ)40(フォーティー) 3とし、人差し指と中指と薬指の3本を立てる。

オ)デュース 片手で器(コップ)を持ち、飲むしぐさをする。

カ)アドバンテージ こぶしを握り、親指を水平にして(指文字の「あ」)をその得点プレーヤーにむける。

### ② コール

ア)「アウト」「フォルト」又は「ダブルフォルト」は片手を高く上げて示す。

イ)「グッドボール」は、腕を伸ばし、手のひらを下に向け、胸より下に示す。

ウ)「レット」は、両手を肩より高く上げた後、片手の手のひらをひらき(ネットを意味する)、もう一方の手は握り(ボールを意味する)ネットに触れた様子を示す。そして、指を第1サービスの時は2本立て、第2サービスの時は1本立てる。

エ)「ナットレディー」及び「タイム」は、両手で「T(ティー)」の形で示す。

オ)「タイブレイク」は、両コートに対して両手で「同点」の手話で示す。

カ)「エンドの交替」は、両手を左右に伸ばし、それを左右に交差させる。

(5)服装とテニスシューズについて

① JTA の規則に定められたテニスウェアを着用し、テニスシューズは、競技コートに合ったものを各自用意すること。(Tシャツは禁止)

② 製造業者及びロゴについては JTA の規則に従う。

## 9. その他

競技進行上、差し支えない限り、雨天でも決行する。

## 10. 本要項改正

・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会

・一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会

## 7. 第19回ゲートボール競技実施要項

### 1. 競技種目

ゲートボール競技とする。

### 2. 競技規則、審判

(財)日本ゲートボール連合「公式ゲートボール競技規則 2003」並びに審判実施要領及び本大会申し合わせによる。審判は、(財)日本ゲートボール連合公認審判員があたる。

### 3. 出場資格

- ① 加盟団体単位に編成したチームのみとする。
- ② 参加チーム数は、加盟団体単位に3チームまでとする。(A・B・Cチーム)

### 4. チーム編成

- ① 1チームの編成は、監督1名、選手5名以上8名以内とする。
- ② 監督は専任とし、選手を兼ねることは出来ない。また、監督をおかなくてもチームは成立する。
- ③ 選手のうち、1名を主将とする。男女を問わず年齢制限はなしとする。

### 5. 競技方法

- ① 予選リーグ戦・決勝トーナメント戦とする。
- ② 競技時間は30分とする。
- ③ 8名以内の選手の内5名が競技に参加し、1試合中に3名まで1回に限り交替することができる。
- ④ リーグ戦各コートの上位2チーム(1・2位)が決勝トーナメント戦に進出する。

### 6. 組み合わせ

リーグ戦・トーナメント戦の組み合わせは、抽選によって競技本部で決定する。

### 7. 表彰

表彰は、競技終了後閉会式において行う。

### 8. 注意事項

#### ① コート設営

(ア)コートは、インサイドライン縦15m・横20mとする。

(イ)インサイドライン、アウトサイドライン並びにフリーゾーンの区画はテープを使用する。

(ウ)待機エリアは椅子を設けて、その範囲とする。

#### ② 競技進行

(ア)先攻・後攻は抽選かジャンケンで決める。

(イ)リーグ戦の順位決定法は次の順序による。①勝ち試合数 ②得失点差 ③対戦結果

(ウ)競技の没収に対しての得点は0:0とする。

(エ)競技を没収されたチーム及びリーグ戦を棄権するチームがあった場合は、残りチームの対戦結果にて代表チームを決定する。

(オ)雨天決行とする。ただし、荒天により競技方法を変更する場合がある。この場合は、大会競技委員長が決定する。

(カ)スパーク打撃の際のコート修正は打者の申し出により審判が行う。

③ 用具等

- (ア)スティックは参加者が持参するものとする。
- (イ)主将の表示マークは、チームが用意する。
- (ウ)大会使用球は、実行委員会が用意する。
- (エ)打順の番号表示は、チームが用意する。
- (オ)主将の指示はスティックを使わず、手で指示すること。
- (カ)競技者は試合の10分前に、全員コートのそばに集合すること。
- (キ)オーダー表は試合の都度コートの審判に渡すこと。
- (ク)オーダー表交換は、試合開始予定時刻の10分前とする。

9. 競技時間

但し、進行の都合により変更することがある。

【第一日目】		【第二日目】	
開始式	9:00～ 9:20	<決勝>	
第一試合	9:30～10:00	第二回戦	9:00～ 9:30
第二試合	10:10～10:40	準決勝戦	9:40～10:10
第三試合	10:50～11:20	決勝戦	10:30～11:00
第四試合	11:30～12:00	閉会式	11:20～終了
昼 食	12:00～12:50		
第五試合	13:00～13:30		
第六試合	13:40～14:10		
<決勝>			
第一回戦	14:30～15:00		

10. 本要項の改正

- ・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会

## 8. 第18回ボウリング競技実施要項

### 1. 競技種目

- ① 団体戦:男子団体・女子団体
- ② 個人戦:男子個人・女子個人

### 2. 競技規定

- ① 大会開催年度の JBC(財団法人全日本ボウリング協会)規則を準用する。また、本大会申し合わせ事項による。
- ② 予選、決勝ともアメリカン方式で行う。

### 3. 出場資格

- ① 個人戦は、人数制限を設けない。
- ② 団体戦は、加盟団体毎に男女別1チームとする。

### 4. チームの編成

- ① 男子団体は1チーム4名、女子団体は1チーム3名とする。
- ② 団体戦で自チームが定員に満たない場合、当該ブロックの加盟団体から男子は2名まで、女子は1名まで補充できる。

### 5. 競技方法

- ① 団体戦  
男子の部 4人×6ゲームとし、計24ゲームのトータルピンにより順位を定める。  
女子の部 3人×6ゲームとし、計18ゲームのトータルピンにより順位を定める。
- ② 個人戦  
男子の部 予選6ゲームとし、そのトータルで上位24名が決勝へ進出する。決勝は3ゲームを行い、9ゲームトータルにて順位を決定する。  
女子の部 予選6ゲームとし、そのトータルで上位12名が決勝へ進出する。決勝は3ゲームを行い、9ゲームトータルにて順位を決定する。

### 6. 表彰

- ① 各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。
- ② HG賞、HS賞は個人戦予選を対象とする。

### 7. スタート、ゲームセットについて

- ① スタートの合図時に遅刻した場合は失格とする。
- ② スタートの合図は緑色、ゲームセットは赤色の旗を用いる。

### 8. スコアの確認

各ゲームのスコアをスコアカードに記載し提出する際、次のことに注意すること。

- ① 選手自身がサインしなければならない。
- ② スコアの誤記、誤算が発見された場合は、本人の確認サインがあっても本人を呼び出し、訂正の承認をとり確定する。但し、競技会の進行上、呼び出し後5分以上は待たず、本人の承認以前に記録委員長が確定することがある。

## 9. 使用ボールについて

- ① ボールラックには使用ボール 2 個までとする。
- ② ボールラックが狭い時は、ラックの下に置くこと。
- ③ 参加選手はマイボールを使用すること。
- ④ ボールにテープ類の付着等、投球に有利な工作をした場合は失格とする。
- ⑤ 競技中のボールの破損、損傷については主催者も会場責任者も責任を負わない。

## 10. タイスコア

予選、決勝において同順位が 2 名以上の場合は、シリーズのハイ・ロー差の少ない方、もしくはゲームのハイ・ロー差の少ないほうを上位とする。それでも決められないときは、プレーオフ 9F・10Fを行う。

## 11. 競技服装等

- ① ユニフォーム着用を義務とする。着用なしは失格とする。またスポーツにふさわしくない服装、ハチマキなどは認めない。
- ② ユニフォームには都道府県名と名前を背部に、「氏」もしくは「氏名」(1文字 5 cm角位)を必ず記入すること。ガムテープ貼付等は失格となる。
- ③ 団体戦の選手は、全員同じユニフォームを着用すること。

## 12. 競技中の禁止事項

(ボウラーズベンチ内及びコンコース)

- ① アプローチパウダーその他の物の使用、アプローチの状態の変更は禁止する。
- ② 応援者との雑談、他選手へのアドバイス(但し団体戦で自チーム内は可)、喫煙、飲食、補聴器装着や携帯電話の使用、出場選手と役員以外のボウラーズベンチ内への立ち入り等は禁止する。

## 13. その他

- ① メンバー及び投球順の変更は、所定用紙にて監督・主将会議の前日までに提出すること。以降変更は出来ない。
- ② レーン割当は大会参加申込締切日以降、実行委員会において抽選により行う。レーンの変更はマシントラブル以外には認められない。
- ③ ファールは次の投球者に移るまでとし、判定機故障により生じたと見られる場合は、競技委員が裁定する。
- ④ 競技会場へのボールの搬送等に関しては、実行委員会の定めるとおりとする。
- ⑤ 競技中トラブルが発生したときは、競技を一時中断し、競技委員の指示に従うこと。

## 14. 本要項の改正

- ・一部改正 2004 年 2 月 22 日 第 6 回全国委員会
- ・一部改正 2005 年 2 月 27 日 第 7 回全国委員会

## 9. 第13回ソフトボール競技実施要項

### 1. 競技種目

男子ソフトボールとする。

### 2. 競技規定

大会開催年度の(財)日本ソフトボール協会オフィシャル・ルール及び本大会申合せ事項による。

### 3. 出場資格

- ① ブロック予選大会において、優勝・準優勝の各1チームに開催地元チーム1チームを加えた計19チーム以内とする。なお、開催地チームが予選大会において優勝又は準優勝の場合は、地元開催チームの権利を失うものとし、出場チーム数は18チーム以内になるものとする。
- ② 但し、優勝・準優勝チームが本大会に出場できない場合は、当該ブロックの協議により、代替チームが出場できるが、代替チームに関する責任は代替チームを選出した当該ブロックが全て負う。
- ③ 出場するチームは1チームで、当該ブロック内の他のチームから選手を2名以内で補強することができる。
- ④ 上記の規定にかかわらず、出場できるのは1都道府県につき2チームを原則とする。
- ⑤ 上記「①、②」によっても、19か18チーム未満の場合は前年度予選大会での各ブロック内のチーム数の多い順から1チームずつ推薦する。この配分順は大会年度の前年度日本ろう者スポーツ協会全国委員会で抽選等により決定する。(12. その他の④に注意)

### 4. チームの編成

- ① 1チームの編成は、監督を含む選手20名以内とする。
- ② コーチまたはマネージャー、スコアラーが選手として出場することはできるが、選手として出場する場合は、20名の範囲内で登録しなければならない。
- ③ 監督の背番号は30番、主将の背番号は10番とする。

### 5. 試合球

検定ゴム3号球(内外)とする。

### 6. 競技方法

- ① 対戦方法はトーナメント方式とする。
- ② 試合は、7イニング制と時間制を併用し、どちらか先に達した時点で試合終了とする。7回を終了して同点の場合は8回よりタイブレーカーを適用する。
  - ア. 80分を越えて新しいイニングに入らないものとする。
  - イ. 7イニングまで達した場合は、規定時間に達していても終了とする。
  - ウ. 5回以後7点差の場合はコールドゲームとする。
  - エ. 決勝戦は7回とする。同点の場合は8回よりタイブレーカーを適用する。時間制限なし。
  - オ. タイブレーカーは継続打順とし、前回の最終打者を2塁走者とし、無死2塁の状態から1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。

なお、タイブレーカーを実施しても勝敗が決しない場合、抽選により勝敗を決定する。(決勝戦を除く)

## 7. 表彰

- ① 決勝戦終了後、閉会式において行う。
- ② 個人賞のうち選考最優秀打者賞は、ベスト3チームの全試合を選考基準対象とし、指定打席(12打席)を設けて、最高打率によるものとする。

## 8. 組み合わせ

監督・主将会議において、大会の組合せ抽選を行う。

## 9. 競技用具

- ① バット、ヘルメット(JSA)の点検をし、規定以外のもの及び危険と思われる用具は、試合終了まで、競技場本部席で保管する。試合終了後、受け取りにくること。
- ② 1チームの選手のユニフォームは同色、同衣装で統一された品位あるものであること。また、帽子は同一のものとする。靴は同色のものを使用しなければならない。
- ③ 背番号は監督 30 番・コーチ 31 番・主将 10 番・選手は1番から 99 番までとする。胸番号も同一とし胸に付けなければならない。
- ④ 攻撃中の打者、走者はヘルメットを着用しなければならない。
- ⑤ 守備中の捕手は、スロートガード付きマスク、ヘルメット、レガースを着用しなければならない。または、ボディプロテクターを着用しなければならない。
- ⑥ 準備投球の時、競技場内のいかなる場所で投球練習する時でも、捕球する者は必ずスロートガード付きマスク・捕手用ヘルメットを着用しなければならない。
- ⑦ 金属製スパイク使用は認めない。また、危険行為をした場合は退場とする。

## 10. 注意事項

### (1) 競技開始まで

- ① 試合開始予定時刻の 30 分前、または前の試合 5 回終了時までには、試合会場に集合すること。遅れた場合は原則として棄権とみなす。
- ② 打順表は、試合開始予定時刻の 30 分前、または前の試合 5 回終了時までには、打順表(4 枚1組複写)に必要事項を記入し、必ずふりがなをつけて球場本部に提出すること。相手のチーム打順表は審判・記録員の照合、確認のうえ審判員より受けとる。
- ③ 攻守順の決定は、打順表提出時、審判員立会いのもと「コイン」のトスによって決定する。「コイン」の裏表は先着(打順表持参)チームに優先権を与える。
- ④ 競技者席は組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。ベンチに入る人数は要項で定められた者以内とする。
- ⑤ フィールディング
  - (ア) 競技場に入ることを許されたメンバーで行うこと。
  - (イ) 後攻チームより 5 分間とし、審判員の指示に従うこと。
  - (ウ) 大会進行上、時間の短縮及び省略することもある。

### (2) 競技開始

- ① 「集合準備」の指示で自己のベンチ前に一列横隊に立つ。
- ② 「集合」の号令と同時に駆け足でホームプレートをはさんで整列する。

### (3) 攻守交替、選手交替

- ① すべて駆け足で敏速に交替を行うこと。
- ② 選手の交替は、監督が球審にすみやかにその旨、通告すること。
- ③ 再出場の時のみ、選手交替届出用紙を提出すること。

(4) 攻守交替のボール

- ① 特に指示がない場合はピッチャープレートの近くに置く。
- ② 試合終了時は審判員に渡す。

11. 競技場

- ① ダブルベースを使用する。
- ② 外野フェンスを設営すること。

12. その他

- ① 審判員の判定に基づく判定に対して抗議することは許されない。ルール上の疑義については、監督またはコーチに限りこれをたずることができる。
- ② 小雨でも決行するが、万一試合を中止、又は開始時刻を変更する場合は大会本部から各チームに連絡する。また、午前中雨天でも、天候の回復状況により試合を開始することもある。
- ③ 第1試合開始前に始球式を行う。
- ④ 実行委員会は大会参加申込締切後、参加チームが 18 か 19 に満たない場合、すぐ日本ろう者スポーツ協会事務局にその旨を伝えること。

13. 本要項の改正

- ・一部改正 2004 年2月 22 日 第 6 回全国委員会

## 10. 第13回バドミントン競技実施要項

### 1. 競技種目

シングルス 男子シングル1部・2部 女子シングル1部・2部  
ダブルス 男子ダブルス1部・2部 女子ダブルス1部・2部 混合ダブルス

### 2. 競技規則

大会開催年度の(財)日本バドミントン協会競技規則並びに本大会運営規定による。

### 3. 出場資格

- ① 一部と二部に区別する。一部は過去の大会でベスト8以上か、国際大会出場を目指す選手(ベスト9以下も可)。二部は、一部を希望しない選手。

※〔本大会申合せ事項〕を参照。

- ② 出場人数について、加盟団体毎に参加制限をしない。  
③ 同一選手は、2種目までエントリーできる。  
④ ダブルスのペアは、加盟団体内で組めない場合、大会競技実施要項規定6の(2)により、ブロック外の他県選手と組むことが出来る。

### 4. 競技方法

各種目ともトーナメント方式で行う。但し、参加状況により、予選リーグ、決勝トーナメント方式で行うことがある。競技方法の決定は競技主管で行う。

### 5. 使用シャトル

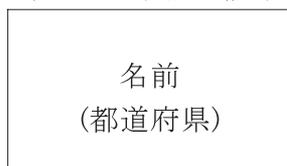
(財)日本バドミントン協会検定合格品とする。

### 6. 組み合わせ

- ① 参加申込み締切り後、実行委員会において審判長立会いのもとで、代理抽選により決定する。  
② 男女シングルスは前回4位まで、ダブルスは混合ダブルスを除いて男女とも前回2位までをシードする。

### 7. 競技服装

- ① 服装は(財)日本バドミントン協会審査合格品を着用するものとする。  
② 選手は着衣の背部にゼッケンをつけるものとする。  
③ ゼッケンの名前で読みにくいものはふりがなをつける。



たて 18cm

よこ 25cm ※白地に黒字

### 8. 表彰

各種目とも、競技終了後閉会式において行う。

## 9. 注意事項

- ① 試合は、15点(女子シングルスのみ11点)の2ゲーム先取の3ゲームとする。
- ② 試合の1ゲームと2ゲームの間に90秒を越えないインターバルを、そして第2ゲームと第3ゲームの間に5分を越えないインターバルを認める。
- ③ 選手はコールを受けた後、5分以内にコートに入ること。
- ④ 審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーに限り質問することを認める。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。
- ⑤ タイムテーブルはあくまでも予定時間であり、時間が早まる場合もあるので、場内放送(提示)に特に注意すること。
- ⑥ 審判員の合図について
  - (1) 「アウト」は両腕を水平に広げて合図する。
  - (2) 「イン」は右手でそのラインを指す。
  - (3) 「フォルト」は手を軽く握り、親指を立てて前につきだす。
  - (4) 「レット」(無効を意味し、やり直し)は、両手を軽く握り、親指を立てて前につきだす。
  - (5) 「エンドの交代」は、両手を左右に伸ばし、それを前で交差させて示す。
- ⑦ プレーヤーは次の行為をしてはならない。
  - (1) プレーを故意に遅らせたり、または中断すること。
  - (2) シャトルのスピードや飛び方を変えるために故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
  - (3) 見苦しい服装でプレーをしたり、審判員や観客に対して横柄な振る舞いをしたりするような、下品で無礼な態度、言動。
  - (4) ラケットや体でネットなどのコート施設を叩くとか、耳障りな掛け声や叫び声を発するなど、競技規則を越えた品行または不快な行動。

## 10. 本要項の改正

- ・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会

## 〔本大会申合せ事項〕

### 1. 出場資格

- ① 一部に登録した選手は、二部に申し込むことが出来ない。

# 11. 第6回バスケットボール競技実施要項

## 1. 競技種目

バスケットボール競技(男・女)

## 2. 競技規定

大会開催年度の(財)日本バスケットボール協会競技規則による。

## 3. 出場資格

(1) 出場方法の優先順位は次の通りとする。

- ① 加盟団体単位で、2チーム以上出場できる。
- ② ①項で編成できない場合は、当該のブロック内に限り、連合チームを編成することができる。但し、連合チームは連合であることが明らかなチーム名にすること。
- ③ ②項で編成できない場合、その当該ブロックを超えてチームを編成できる。

(2) コーチ、又はマネージャーが選手を兼ねる場合は選手名簿にも登録されていなければ、選手として出場できない。

## 4. チームの編成

- ① 1チームの編成は、コーチ1人、アシスタントコーチ1人以内、選手15人以内、チーム関係者(部長、マネージャー、スコアラーなど)を含めて20人以内とする。
- ② 全国ろうあ者体育大会『競技実施要項規定』内にある『監督』の任務は、コーチが行うものとする。
- ③ 団体戦
  - 1) 基本的には同県からの参加者で構成する。
  - 2) 数が足りない時は、ブロック内から補強ができる。
  - 3) ブロック内から補強が出来ない場合は、他のブロックから補強ができる。

## 5. 競技方法

- ① 競技は、3チーム以上の参加により実施する。原則的にトーナメント方式とするが、出場チーム数によってはリーグ戦とすることがある。
- ② 本大会の出場チーム数は、地元代表チームを含めて16チーム以内とする。
- ③ 試合の時間は、10分のピリオドを4回行う。第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間に2分のインターバルをおく。ハーフタイムは10分とする。
- ④ 第4ピリオドが終わった時、両チームの得点と同じならば、1回5分の延長時限を必要な回数だけ行う。各延長時限の前のインターバルは2分とする。

## 6. 使用球

試合球は、日本バスケットボール協会公認7号球とする。[本大会申合せ事項参照]

## 7. 組み合わせ抽選

- ① 監督・主将会議において抽選を行う。
- ② 男女とも前回優勝・準優勝チーム(6チーム以上は3,4位とも)をシードとする。
- ③ トーナメントの場合、ベスト4チームのブロックに、同ブロックのチームが入らないように抽選を行う。

## 8. 注意要項

(1) ユニフォーム

- ① ユニフォームは、胸部と背中にユニフォームの色とはっきり区別できる単色の番号をつける。4から始まる一連の番号を用いる。
- ② ユニフォームは、チーム名及び都道府県名を胸部に明記し、着用すること。なお、都道府県名の

みでも可とする。

- ③ ユニフォームは、組み合わせの若い番号のチームを淡色(白)とし、淡色と濃色の2種類を用意すること。

#### (2)チームベンチ

- ① ベンチは、組み合わせの若い番号のチームがオフィシャル席に向かって右側とする。
- ② 登録されたコーチ、アシスタントコーチ、選手、チーム関係者以外は、ベンチに入ってはならない。

#### (3)練習

エントリーメンバー以外の者は、ゲーム前のアップやハーフタイムの練習もコートに入ることはできない。

#### (4)メンバー用紙

メンバー用紙は、前試合のハーフタイム(第1試合は開始10分前)までに本部席(メンバー表受付場所)に提出する。

#### (5)前試合が遅れた場合の処置

前試合が遅れた場合は、前試合終了10分後に開始する。

#### (6)チャージド・タイムアウトの取り方

各チームは、第1、第2、第3ピリオドに1回ずつ、第4ピリオドに2回、各延長時限には1回ずつのチャージド・タイムアウトを取ることができる。それぞれのチャージド・タイムアウトは1分間とする。

#### (7)プレイヤーが身につけるものについて認められないもの

- ① 指、手、手首、前腕、ひじの防具で、皮革、プラスチック、ソフトプラスチック、金属のほか硬い素材で作られているもの。これらの防具は表面を柔らかい素材で覆ってあっても使用してはならない。
- ② 他のプレイヤーに切り傷や擦り傷を与えるようなもの。髪飾り、頭にかぶるもの。貴石、宝石類(指輪、チェーン、ピアスなど)、補聴器。ペイント。

#### (8)審判について

- ① フラッグを配置し、審判の笛をランプで知らせるようにする。
- ② 審判は準決勝以上では、A級審判員を配置する。

#### 9. 本要項の改正

- ・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会

### 〔本大会申合せ事項〕

1. 試合球は、男子は日本バスケットボール協会公認7号級とし、女子は同協会公認6号球とする。

## 5. 参加申込方法のご案内

### (1) 参加申込の手続き

- ① 宿泊・昼食（弁当）・航空券・観光等について
  1. 宿泊のご案内
  2. 昼食（弁当）のご案内
  3. 航空機のご案内
  4. 送迎バスのご案内
  5. 観光について
  6. 変更・取消について
- ② 参加申込方法と申込先について
  1. 一般参加者（選手・応援）の皆様へ
  2. 所属協会ご担当者の方へ
  3. 申込先・送金先

### (2) 参加申込書

### (3) 日通ペリカン便集荷申込書（ボウリング競技のみ）

#### 開会式について

※ 監督・主将は開会式に参加義務となりますので、監督・主将会議にて整理券を配布します。

## 〔参考〕 ダブルス種目のある競技の参加料早見表

〔説明〕

- ① 第1希望種目はシングルスやダブルスにも関わらず個人参加料とする。  
個人参加料は、卓球 5,000 円、テニス 5,500 円、バドミントン、5,000 円です。
- ② 第2希望種目からダブルス戦に出場する場合、追加料金として1組 2,000 円(テニスは 2,500 円)で、1人 1,000 円(テニスは 1,250 円)となる。
- ③ 各競技で希望種目数により、下記通りの組合せで、一人あたりの参加料を算出する。

### 1. 卓球競技

- 〔参加条件〕
- ①団体戦出場選手はシングルス戦に参加できるが、ダブルス戦には参加できない。
  - ②団体戦出場選手も個人参加料を納める。
  - ③ダブルス戦(男・女)と混合ダブルス戦は、どちらにも参加できる。
  - ④シングルス戦は、全選手が出場できる。

希望種目数		シングルス	男子ダブルス or 女子ダブルス	混合ダブルス	参加料合計/1人
1種目希望	A選手	5,000円			5,000円
	B選手		5,000円		5,000円
	C選手			5,000円	5,000円
2種目希望	A選手	5,000円	1,000円		6,000円
	B選手		5,000円	1,000円	6,000円
	C選手	5,000円		1,000円	6,000円
3種目希望	A選手	5,000円	1,000円	1,000円	7,000円

### 2. テニス競技

〔Aクラス〕

1種目希望	A選手	5,500円			5,500円
	B選手		5,500円		5,500円
2種目希望	A選手	5,500円	1,250円		6,750円

〔Bクラス〕

参加	A選手		6,500円		6,500円
----	-----	--	--------	--	--------

### 3. バドミントン競技

- 〔参加条件〕
- ①3種目のうち、2種目までしか出場できない。
  - ②1部と2部にまたがって参加できない。

(例。1部シングルスと2部ダブルスに出場、という出場方法は認められない)

1種目希望	A選手	5,000円			5,000円
	B選手		5,000円		5,000円
	C選手			5,000円	5,000円
2種目希望	A選手	5,000円	1,000円		6,000円
	B選手		5,000円	1,000円	6,000円
	C選手	5,000円		1,000円	6,000円

# 宿泊・昼食（弁当）・観光・航空機・送迎バスについて

## 1. 宿泊施設のご案内

＜宿泊期間：平成 17 年 9 月 22 日(木)～9 月 26 日(月)1～4 泊＞

- 宿泊の割り当ては基本的に都道府県ごとを優先とし、部屋割りは各競技別を優先と致します。
- 宿泊料金については、すべてサービス料込・税金込の一人様宿泊料金です。
- 宿泊施設は、長崎地区・大村地区・諫早地区・島原地区・佐世保地区をご用意致します。(その他地区のご希望がございましたらお知らせください)
- 2名1室利用以上利用をご希望された方は、必ず申込書に同室希望者名をご記入ください。
- 宿泊は、必ず第2希望までご記入ください。
- ご予約は先着順とさせていただきます。ご希望のホテルが満室の場合、他のホテルにて変更をお願いさせていただきます場合がございますので予めご了承ください。
- 食事タイプの欄の1/アは1泊朝食付・1/2は1泊2食付の略です。

【長崎地区】

地図 番号	ホテル名	部 屋	食事 タイプ	1名1室利用		2名1室利用		3名以上1室利用	
				申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金
1	トレディアホテル中島	洋室	1/ア	あー1	7,000 円				
			1/2	アー1	8,500 円				
2	長崎オリオンホテル	洋室	1/ア	いー1	7,500 円	いー2	7,000 円		
			1/2	イー1	9,500 円	イー2	9,000 円		
3	トレディアホテル出島	洋室	1/ア	うー1	7,500 円	うー2	7,000 円		
			1/2	ウー1	9,000 円	ウー2	8,500 円		
4	ニューうらかみホテル	洋室	1/ア	えー1	7,500 円	えー2	7,000 円		
			1/2	エー1	9,000 円	エー2	8,500 円		
5	長崎グランドホテル	洋室	1/ア	おー1	8,000 円	おー2	7,000 円		
			1/2	オー1	12,500 円	オー2	11,500 円		
6	JR九州ホテル長崎	洋室	1/ア	かー1	8,000 円				
7	長崎パークサイドホテル	洋室	1/ア	きー1	9,000 円	きー2	7,500 円		
			1/2	キー1	11,000 円	キー2	9,500 円		
8	長崎シーホテルネクス3	洋室	1/ア			くー2	8,000 円		
			1/2			クー2	10,500 円		
9	ホテルニュー長崎	洋室	1/ア	けー1	14,000 円	けー2	9,500 円		
			1/2	ケー1	20,500 円	ケー2	15,000 円		
10	矢太楼	和室	1/ア			こー2	8,000 円	こー3	7,000 円
			1/2			コー2	11,000 円	コー3	10,000 円
11	長崎ホテル清風	和室	1/ア			さー2	8,000 円	さー3	7,000 円
			1/2			サー2	11,000 円	サー3	10,000 円
12	稲佐山観光ホテル	洋室	1/ア			しー2	8,000 円	しー3	8,000 円
		和室	1/2			シー2	11,000 円	シー3	11,000 円

【大村地区】

地図 番号	ホテル名	部 屋	食事 タイプ	1名1室利用		2名1室利用		3名以上1室利用	
				申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金
13	ビジネスホテルよし川	洋室	1/ア	すー1	7,500 円	すー2	7,000 円	すー3	7,000 円
			1/2	スー1	8,500 円	スー2	8,000 円	スー3	8,000 円
14	ヤスダオーシャンホテル	洋室	1/ア	せー1	7,500 円				
			1/2	セー1	8,500 円				
15	大村セントラルホテル	洋室	1/ア	そー1	7,500 円				
			1/2	ソー1	8,500 円				
16	ビジネスホテルサン大村	洋室	1/ア	たー1	7,500 円	たー2	7,000 円	たー3	7,000 円
			1/2	ター1	9,000 円	ター2	8,500 円	ター3	8,500 円

17	千登勢旅館	和室	1/A	ち-1	8,000円	ち-2	7,500円	ち-3	7,000円
			1/2	チ-1	9,000円	チ-2	8,500円	チ-3	8,000円
18	長崎空港観光ホテル	洋室	1/A	つ-1	8,000円	つ-2	7,500円	つ-3	7,000円
		和室	1/2	ツ-1	11,000円	ツ-2	10,500円	ツ-3	10,000円
19	長崎インターナショナルホテル	洋室	1/A	て-1	10,000円	て-2	9,000円	て-3	8,000円
			1/2	テ-1	12,500円	テ-2	11,500円	テ-3	10,500円

【諫早地区】

地図 番号	ホテル名	部 屋	食事 タイプ	1名1室利用		2名1室利用		3名以上1室利用	
				申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金
20	諫早シティーホテル	洋室	1/A	と-1	7,500円				
21	諫早パークイン	洋室	1/A	な-1	7,500円	な-2	7,000円	な-3	7,000円
		和室	1/2	ナ-1	8,500円	ナ-2	8,000円	ナ-3	8,000円
22	諫早ターミナルホテル	洋室	1/A	に-1	7,500円	に-2	7,000円		
23	ホテルジャノメ	洋室	1/A	ぬ-1	7,500円	ぬ-2	7,000円	ぬ-3	7,000円
		和室	1/2	ヌ-1	8,500円	ヌ-2	8,000円	ヌ-3	8,000円
24	諫早観光ホテル道具屋	洋室	1/A	ね-1	9,000円	ね-2	8,000円	ね-3	7,000円
		和室	1/2	ネ-1	10,000円	ネ-2	9,000円	ネ-3	8,000円

【島原地区】

地図 番号	ホテル名	部 屋	食事 タイプ	1名1室利用		2名1室利用		3名以上1室利用	
				申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金
25	島原第一ホテル	洋室	1/A	の-1	7,500円				
26	ニュークイーンホテル	洋室	1/A	は-1	7,500円	は-2	7,000円		
27	Hotel&Spa 花みずき	洋室	1/A	ひ-1	8,000円	ひ-2	7,000円		
28	九十九ホテル	洋室	1/A			ふ-2	8,000円	ふ-3	7,000円
		和室	1/2			フ-2	10,500円	フ-3	9,500円
29	ホテル南風樓	和室	1/A			ほ-2	9,000円	ほ-3	8,000円
			1/2			ホ-2	11,000円	ホ-3	10,000円

【佐世保地区】

地図 番号	ホテル名	部 屋	食事 タイプ	1名1室利用		2名1室利用		3名以上1室利用	
				申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金	申込 記号	宿泊料金
30	佐世保シティーホテル	洋室	1/A	ま-1	9,000円	ま-2	8,500円		
31	佐世保ワシントンホテル	洋室	1/A	み-1	9,000円	み-2	8,500円		
32	九十九島観光ホテル	洋室	1/A			む-2	10,000円	む-3	9,000円
		和室	1/2			ム-2	12,000円	ム-3	11,000円

## 2. 弁当のご案内

### ■弁当代：700円（お茶付）

- 各競技場周辺には、食事施設があまりございませんので、お弁当のお申し込みをお勧め致します。  
なお、当日のお申し込みはできませんので、ご希望の方は必ず事前にお申し込みください。  
当日の受け取り場所は下記の通りです。

月日（曜日）	会議・競技	受け取り場所
9月23日（金）	監督・主将会議	大村市コミュニティセンター
9月24日（土）	各競技	各競技会場
9月25日（日）	各競技	各競技会場

### 3. 観光のご案内

■大会期間中、下記のような観光コースをご用意しております。皆様方のご参加をお待ちしております。

#### ①遠藤文学と 1000 万ドルの夜景コース 日時：平成 17 年 9 月 23 日(金)

参加費用：3,800円 募集人員 90 名 (最少催行人員 30 名)

月日	行 程
9/23 (金)	長崎空港=====諫早駅=====遠藤周作文学館===== 13:30 14:00 15:00 15:30 =====出島ワーフ=====稲佐山夜景鑑賞=====長崎駅 16:30 18:00 18:30 19:30 20:00 頃

※ 食事はついておりません。

※ キリシタンの里としても知られる外海町は、遠藤文学の原点「沈黙」の舞台となった場所。遠藤周作文学館には愛用品や生原稿、膨大な蔵書が収蔵されています。

※ 出島ワーフはベイエリアにできた複合商業施設で、個性派ぞろいの飲食店を中心に雑貨店や県産品を扱う店舗が立ち並んでいます。

※ 稲佐山からの市街地と長崎港の眺めは宝石がちりばめられたような美しい夜景が楽しめます。

#### ②長崎市内の歴史と異文化体験コース 日時：平成 17 年 9 月 26 日(月)

参加費用：5,500円 募集人員 90 名 (最少催行人員 30 名)

月日	行 程
9/26 (月)	大村駅=====諫早駅=====長崎駅=====大浦天主堂・グラバー園===== 9:00 9:30 10:20 10:30 12:00 =====中華街(昼食)=====平和公園・原爆資料館=====諫早駅=====長崎空港 12:10 13:30 14:00 16:00 16:50 頃 17:30 頃

※ 中華街での昼食がついております。

※ 美しいゴシック風の日本最古の大浦天主堂と長崎に残る明治時代の建物を移築・復元したものを集めたグラバー園を訪れます。

※ 平和公園には、原爆の被災者に対する鎮魂と平和への祈りをこめた平和公園の祈念像があります。また、近くのお店で、長崎のお土産をご購入ください。

※ 長崎原爆資料館には、原爆による悲惨な歴史と街の復興や平和希求など、ストーリー性を持たせわかりやすく展示されています。

ご旅行条件について<各コース共通>

- ① 上記日程には、行程中に記載の交通費、食事代、拝観入場料、旅行傷害保険、企画料金などの費用が含まれます。
- ② 各コースとも定員となり次第締め切らせていただきます。
- ③ 両コースとも添乗員と手話通訳が同行致します。
- ④ 交通事情、気象等の理由により、コースの経路及び時間を変更する場合がございます。
- ⑤ その他、ご旅行条件につきましては、運輸省認可の弊社『旅行業約款』によります。

## 4. 航空機のご案内

■ 運賃・発着時間は平成 17 年 5 月現在のものです。スケジュール、便名は航空会社の都合により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。確定スケジュール、便名は回答書でご確認ください。下記以外航空便につきましてもご希望がございましたら、お問合せください。なお、上記運賃には航空保険特別料金 300 円、国内線旅客施設使用料（羽田空港発着 100 円、中部国際空港発着 200 円）含まれております。

■ 各便 5 名以上予約があった場合のみ、下記団体運賃が適用になります。5 名以上集まらない場合は、身障者割引運賃又は普通航空券運賃などの手配となりますのでご了承ください。

■ 連休中につき、下記団体運賃には席数に限りがございます。先着順とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。なお、できるだけのご要望にお答えしたいと思いますので、必ず第二希望までご記入いただき、設定便がない場合は、ご希望の時間等を申込書に詳しくご記入ください。

### (1) 航空機（往路）

記号	期日	便名	区間・時間				通常運賃	団体運賃 (5名以上)			
			発地		～	着地					
A	9/22(木)	JAL-1851 便	東京 (羽田)	15:55	～	長崎 (大村)	17:45	33,700 円	14,000 円		
B		ANA-667 便		17:00			18:50				
C		ANA-669 便		19:00			20:50				
D		JAL-3281 便	名古屋 (中部)	11:30	～	長崎 (大村)	12:55			27,800 円	13,000 円
E		ANA-373 便		19:30			20:55				
F		ANA-167 便	大阪 (伊丹)	15:00	～	長崎 (大村)	16:10			22,100 円	9,800 円
G		JAL-2379 便		17:05			18:15				
H	ANA-472 便	沖縄 (那覇)	16:30	～	長崎 (大村)	17:55	24,400 円	13,300 円			
I	JAL-3514 便	札幌 (新千歳)	16:10	～	福岡	18:35	44,600 円	24,000 円			
J	9/23(金)	ANA-663 便	東京 (羽田)	10:30	～	長崎 (大村)	12:20	33,700 円	14,900 円		
K		JAL-1851 便		15:55			17:45				
L		ANA-667 便		17:00			18:50				
M		ANA-669 便		19:00			20:55				
N		JAL-3281 便	名古屋 (中部)	11:30	～	長崎 (大村)	12:55	27,800 円	16,000 円		
O		ANA-373 便		19:30			20:55				
P		JAL-3209 便		11:15			福岡			12:30	21,800 円
Q		ANA-227 便	15:00	16:15							
R		ANA-161 便	大阪 (伊丹)	10:00	～	長崎 (大村)	11:10	22,100 円	13,000 円		
S		ANA-167 便		15:00			16:10				
T		JAL-2379 便		17:05			18:15				
U		ANA-472 便	沖縄 (那覇)	16:30	～	長崎 (大村)	17:55	24,400 円	13,300 円		
V		ANA-794 便	札幌 (新千歳)	13:30	～	福岡	15:55	44,600 円	26,000 円		
W		ANA-796 便		14:00			16:25				

## (2)航空機 (復路)

記号	期日	便名	区間・時間				通常運賃	団体運賃 (5名以上)	
			発地		～	着地			
a	9/25(日)	JAL-1850 便	長崎 (大村)	15:35	～	東京 (羽田)	17:15	33,700 円	20,000 円
b		ANA-668 便		16:30			18:10		
c		JAL-1852 便		18:30			20:10		
d		ANA-670 便		19:30			21:10		
e		JAL-3282 便	長崎 (大村)	15:35	～	名古屋 (中部)	16:45	27,800 円	16,000 円
f		ANA-374 便		18:30			19:50		
g		JAL-3224 便	福岡	18:45			20:00	21,800 円	13,000 円
h		JAL-2374 便	長崎 (大村)	14:00	～	大阪 (伊丹)	15:10	22,100 円	13,000 円
i		ANA-168 便		17:00			18:10		
j		JAL-2378 便		19:00			20:10		
k	9/26(月)	JAL-1840 便	長崎 (大村)	8:30	～	東京 (羽田)	10:10	33,700 円	14,900 円
l		ANA-662 便		9:00			10:40		
m		JAL-1842 便		10:35			12:15		
n		JAL-1852 便		18:30			20:10		
o		ANA-372 便	長崎 (大村)	8:00	～	名古屋 (中部)	9:20	27,800 円	14,000 円
p		ANA-374 便		18:30			19:50		15,000 円
q		JAL-3216 便	福岡	12:30	～		13:45	21,800 円	12,000 円
r		JAL-3224 便		18:45			20:00		
s		JAL-2372 便	長崎 (大村)	9:50	～	大阪 (伊丹)	11:00	22,100 円	10,800 円
t		ANA-164 便		11:30			12:40		
u	JAL-2378 便	19:00		20:10			13,000 円		
v	ANA-471 便	長崎 (大村)	10:30	～	沖縄 (那覇)	12:00	24,400 円	13,300 円	
w	ANA-795 便	福岡	11:00	～	札幌 (新千歳)	13:15	44,600 円	22,000 円	
x	JAL-3513 便		11:10			13:25			

## 5. 送迎バスのご案内

- 大会会場が広範囲に渡りますので、交通の便を考慮致しまして、下記路線の送迎バスを設定致しました。ご希望の区間をお選びいただき、申込書の希望欄に○をつけ、金額をご記入ください。
- 開会式会場から大村、諫早、佐世保の区間は、送迎バスを設定した場合、運賃がタクシーや公共交通機関を利用するよりも割高となりますので、設定しておりません。**あらかじめご了承ください。なお、設定以外でご希望の区間がございましたら、(例えば各会場から長崎空港までの送迎バス等)備考欄に希望日時、区間、人数をご記入ください。別途算出致します。
- 各箇所の出発時間及び出発場所については、試合時間等考慮して、別途ご案内致します。
- 申込人数によっては、タクシーまたは他の交通機関をご案内する場合がございます。
- 下記とは別に、1日バスを貸切ご希望がございましたら、備考欄にご記入ください。大会特別料金にてご案内いたします。料金は区間によって異なりますので、別途ご回答いたします。

《記入例》

	月日(曜日)	往路		復路	単価	申込希望	金額
送迎バス	9月23日 (金)	開会式会場	⇒	長崎市内ホテル	1,500円	○	1,500円
		開会式会場	⇒	島原市内ホテル	1,800円		円
	9月24日 (土)	決定宿泊ホテル	⇒	各大会会場	800円	○	800円
		各大会会場	⇒	決定宿泊ホテル	800円	○	800円
	9月25日 (日)	決定宿泊ホテル	⇒	各大会会場	800円	○	800円
		各大会会場	⇒	決定宿泊ホテル	800円	○	800円

## 6. 変更・取消について

- 申込後の変更、取消は必ずお申し込みの所属協会へお申し出願います。所属協会ご担当者の方は、参加者からの変更、取消の依頼がありましたら、FAXにて近畿日本ツーリスト(株)長崎支店へ営業時間内にお願いします。お電話による変更・取消はお受け致しかねますのでご了承ください。
- お客様のご都合で予約を取り消される場合、以下の取消料を申し受けます。

「宿泊」1泊あたり

取消日	9月8日以前	9月9～15日	9月16～20日	9月21日	9月22日以降
取消料金	無料	宿泊代の20%	宿泊代の30%	宿泊代の50%	宿泊代の100%

「航空機」片道あたり (割引運賃適用の場合は、変更の場合も取消料がかかります。)

取消日	14日以前		13～11日前迄	10日前～前日	出発迄	出発以降
取消料金	無料	(東京・名古屋・札幌・沖縄線)	3,420円	6,420円	9,420円	全額
		(大阪線)	2,420円	4,420円	6,420円	

「弁当」1食あたり

取消日	9月16日以前	9月17日以降
取消料金	無料	100%

「送迎バス」1回につき

取消日	21日以前	20日～2日前	前日	当日
取消料金	無料	30%	50%	全額

「観光」

取消日	21日以前	20日～8日前	7日～2日前	前日	当日	旅行開始後
取消料金	無料	20%	30%	40%	50%	100%

## 参加申込方法と申込先、お支払い方法について

### 1. 一般参加者（選手・応援）の皆様へ

大会参加は全て予約制です。本申込書最終ページとじこみの参加申込書（個人用）・送迎バス・航空券申込書に必要事項をご記入の上、所属協会へ7月8日（金）までにお申し込みください。特に航空機については、連休につき団体割引の座席に限りがございます。先着順で受付させていただきますので、該当の航空便が満席になり次第、別の便か通常の航空運賃にて案内させていただくことになります。ご希望の方はお早めにお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

#### 【申込先】（大会参加・宿泊・弁当・観光・航空券・送迎バス）

所属協会へお申し込みください。

※お申し込み後の変更、取消等は必ずお申し込みの所属協会へお申し出願います。

### 2. 所属協会ご担当者の方へ

別紙、参加費総集計表及び参加総括名簿への集計、ご記入をお願い致します。また、コピー1片を協会控えとし、名簿原本とコピー1片を7月15日（金）までに各都道府県の近畿日本ツーリスト(株)担当支店へご送付ください。

#### （航空機・送迎バス）

送迎バス・航空券申込書については、7月8日（金）までに直接近畿日本ツーリスト(株)長崎支店へFAXしてください。

特に航空機については、連休につき団体割引の座席に限りがございます。先着順で受付させていただきますので、該当の航空便が満席になり次第、別の便か通常の航空運賃にて案内させていただくことになります。ご希望の方はお早めにお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

申込を受け付けましたら、2、3日中に受付印を押印し、FAXで返信致します。返信がない場合は申込書が弊社に届いていない可能性がございますので、お電話でお問い合わせください。

代金は、7月15日（金）までに各都道府県の近畿日本ツーリスト(株)担当支店へお支払いください。

お申し込み後は、8月22日（月）までに予約回答書、各種クーポン券(宿泊等)を併せて発送しますので、ご確認ください。

#### 【申込先】（大会参加・宿泊・弁当・観光）

近畿日本ツーリスト(株) 各支店

次ページの一覧表をご覧ください。

※お申し込み後の変更、取消等はFAXにて近畿日本ツーリスト(株)長崎支店へ、営業時間内にお申し出願います。

#### 【申込先】（航空券・送迎バス）

近畿日本ツーリスト(株)長崎支店 「第39回全国ろうあ者体育大会」係

〒850-0033 長崎市万才町7-1 住友生命ビル1F 担当：淵上、河添、川野

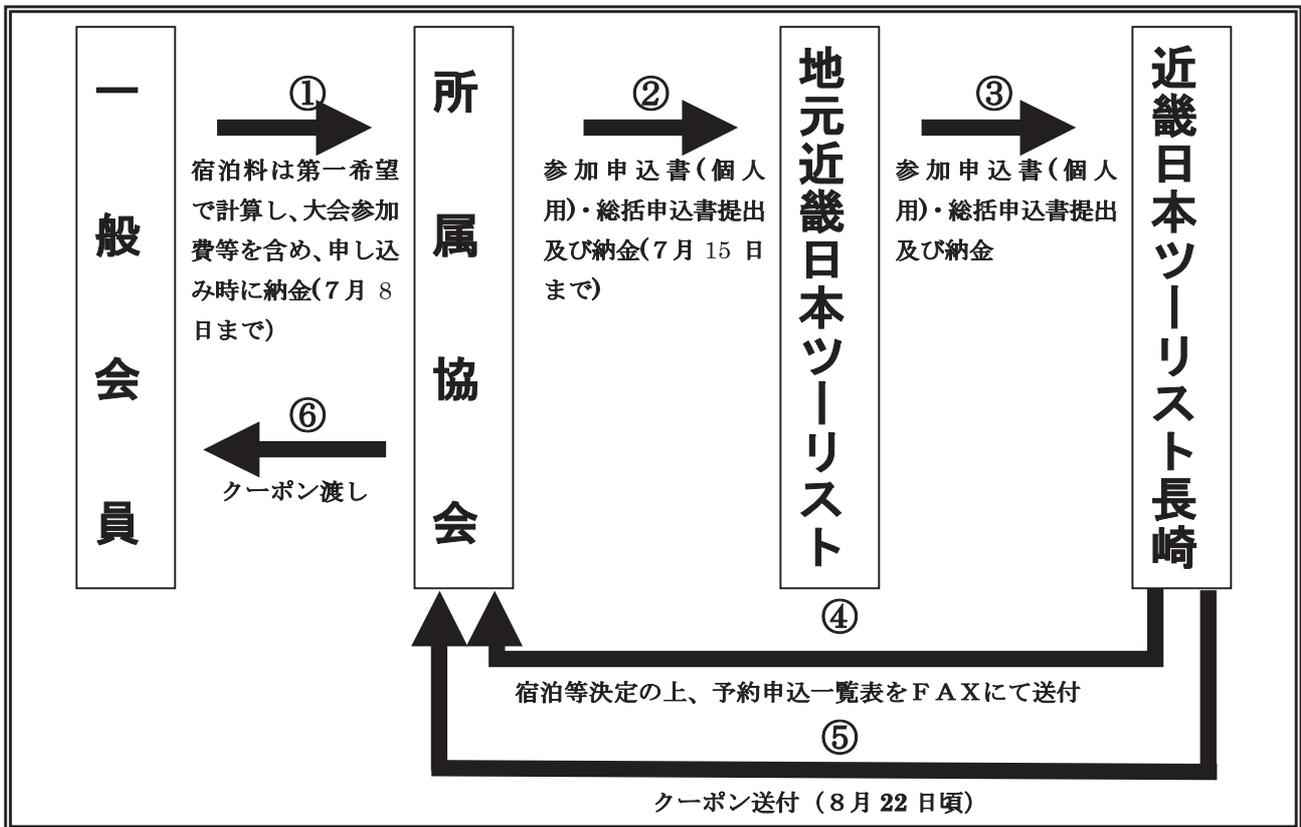
TEL：(095)820-1684 FAX：(095)821-4806

\*営業日（時間） 平日9:00～17:45 土・日・祝日休業

## 近畿日本ツーリスト(株)対応支店一覧表

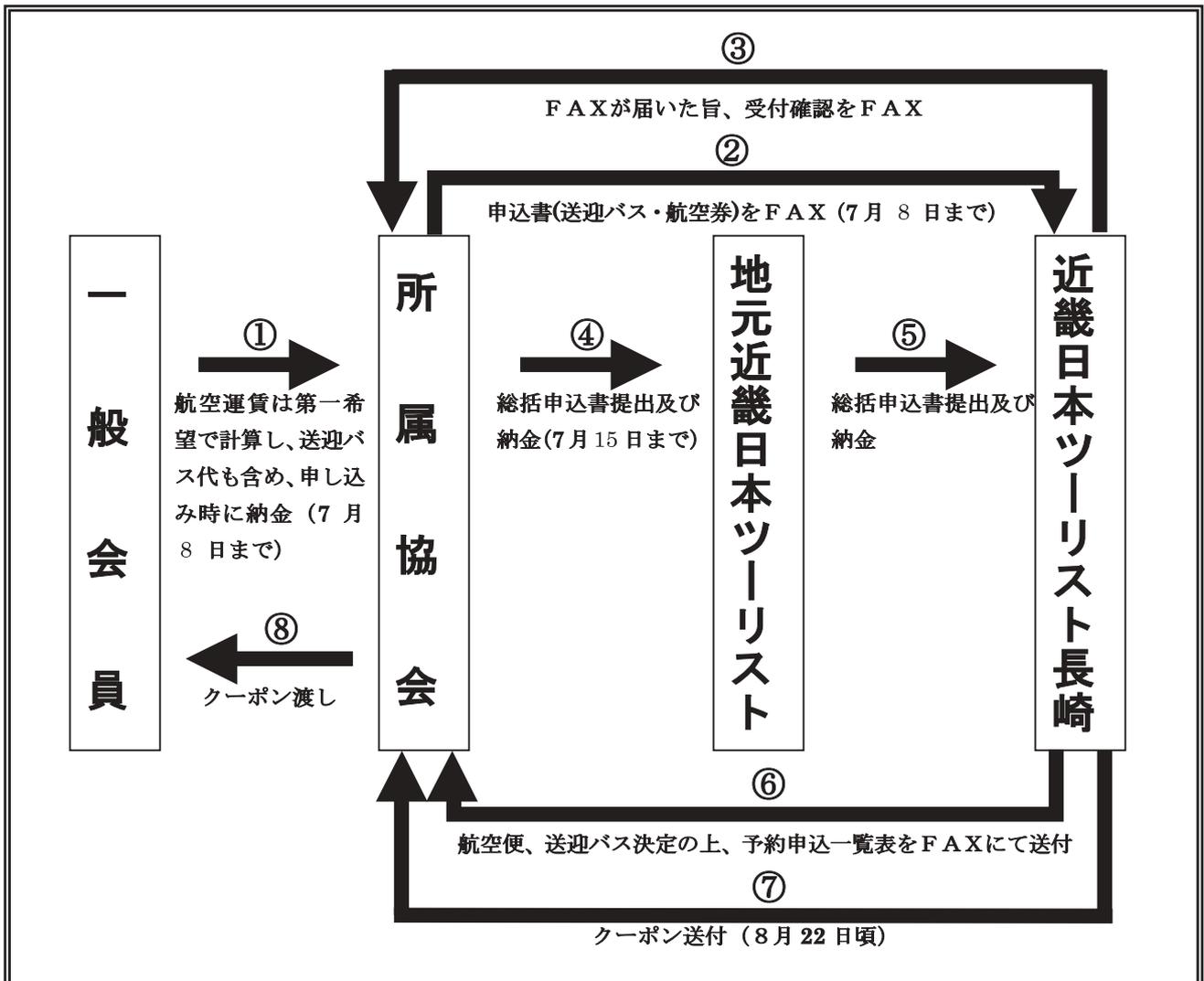
支店名	〒	住所	TEL	FAX
札幌事業部	060-0003	札幌市中央区北3条西1丁目1-1札幌パナソニックビル4階	011-251-0011	011-251-3630
青森支店	030-0801	青森市新町1-1-14安田火災青森ビル1階	017-722-5500	017-773-5165
盛岡支店	020-0021	盛岡市中央通2-2-5住友生命盛岡ビル1階	019-651-2231	019-651-2134
仙台イベント・コンベンション支店	980-0021	仙台市青葉区中央1-7-20東邦ビル4階	022-222-4141	022-221-6188
秋田支店	010-0001	秋田市中通2-3-8アトリオン1階	018-832-2118	018-835-2640
山形支店	990-0039	山形市香澄町2-2-39須藤ビル1階	023-632-3211	023-625-7351
福島支店	960-8041	福島市大町7-3福島センタービル1階	024-521-1411	024-524-1525
水戸支店	310-0015	水戸市宮町2-4-33小林ビル	029-225-1015	029-231-7841
宇都宮支店	320-0801	宇都宮市池上町2-2中村第一ビル1階	028-633-2151	028-638-5576
前橋営業所	371-0026	前橋市大手町2-6-20	027-227-1611	027-224-9725
さいたま支店	330-0802	さいたま市大宮区宮町1-15	048-644-7111	048-644-2237
千葉支店	260-0013	千葉市中央区中央3-3-8日本生命千葉中央ビル6階	043-227-9451	043-222-9770
東京イベント・コンベンション支店	101-0051	千代田区神田神保町2-2共同ビル6階	03-3263-5581	03-3263-5961
藤沢支店	251-0025	藤沢市鶴沼石上1-2-2ASCAビル1階	0466-23-2821	0466-23-3369
甲府支店	400-0031	甲府市丸ノ内2-1-1	055-228-7311	055-222-8600
新潟支店	950-0087	新潟市東大通1-2-30住友生命新潟ビル	025-241-6161	025-247-1211
長野支店	380-0824	長野市南石堂町1423-19ツリスト長野ビル	026-227-7112	026-224-3728
富山支店	930-0003	富山市桜町1-4-24白倉本社ビル	076-433-8855	076-433-8609
金沢支店	920-0981	金沢市片町1-1-34第一生命ビル1階	076-232-0571	076-232-3228
福井支店	910-0005	福井市大手2-7-3日新ビル	0776-25-4001	0776-24-2533
岐阜支店	500-8833	岐阜市神田町9-20住友生命岐阜ビル6階	058-265-0203	058-264-2070
静岡支店	420-0857	静岡市葵区御幸町6-11	054-254-4646	054-255-6639
名古屋イベント・コンベンション支店	450-0002	名古屋市中村区名駅2-45-19桑山ビル2階	052-583-5101	052-583-5110
津支店	514-0042	津市新町1-13-12近鉄津新町駅ビル	059-227-5516	059-224-1527
大津支店	520-0051	大津市梅林1-3-10滋賀ビル1階	077-522-7518	077-526-4503
京都イベント・コンベンション支店	604-8005	京都市中央区河原町通三条上ル恵比須町437 近畿日本ツーリスト河原町ビル5階	075-212-2024	075-212-2087
関西イベント・コンベンション支店	541-0042	大阪市中央区今橋2-4-10大広今橋ビル3階	06-6202-0224	06-6202-7921
神戸支店	650-0032	神戸市中央区伊藤町121神戸伊藤町ビル8階	078-392-2433	078-392-3822
奈良支店	630-8215	奈良市東向中町28奈良近鉄ビル	0742-23-4891	0742-22-8946
和歌山支店	640-8044	和歌山市板屋町22和歌山大同生命ビル1階	073-431-7224	073-431-8863
鳥取県庁内旅行コーナー	680-0022	鳥取市西町2丁目109津田ビル4階	0857-22-6908	0857-22-6904
山陰支店	690-0887	松江市殿町171島根石油ビル1階	0852-22-4893	0852-27-8359
岡山支店	700-0901	岡山市本町2-2	086-224-4444	086-224-3425
広島イベント・コンベンション支店	730-0013	広島市中区八丁堀16-11日本生命広島第2ビル1階	082-221-6112	082-223-2215
山口支店	753-0087	山口市米屋町2-5	083-922-4885	083-925-1823
徳島支店	770-0841	徳島市八百屋町1-14三井生命徳島ビル1階	088-622-0985	088-652-1414
高松支店	760-0023	高松市寿町1-3-2高松第一生命ビル1階	087-851-3331	087-851-3330
松山支店	790-0003	松山市三番町4-9-5GEエッジビル1階	089-941-4533	089-933-6277
高知営業所	780-0834	高知市堺町2-26高知中央第一生命ビル4階	088-824-4894	088-824-2861
九州イベント・コンベンション支店	810-0001	福岡市中央区天神1-13-6日土地福岡ビル2階	092-716-4891	092-735-2552
佐賀支店	840-0816	佐賀市駅南本町15-1住友生命佐賀ビル8階	0952-29-4894	0952-26-2695
長崎支店	850-0033	長崎市万才町7-1住友生命ビル1階	095-820-1684	095-821-4806
熊本支店	860-0807	熊本市下通1-10-28栢原ビル1階	096-325-4891	096-322-6661
大分支店	870-0035	大分市中央町1-2-3	097-537-3155	097-538-3168
宮崎支店	880-0806	宮崎市広島1-4-12	0985-25-4895	0985-28-0551
鹿児島支店	892-0842	鹿児島市東千石町1-1第8川北ビル	099-223-3205	099-239-8159
近畿日本ツーリスト沖縄	900-0033	那覇市久米2-4-13明治安田生命沖縄ビル	098-867-7111	098-864-1772

申込の流れ（参加費・宿泊費・弁当代・観光） No. 1



申込の流れ（航空券・送迎バス） No. 2

No. 2



### 第 39 回全国ろうあ者体育大会参加申込書（個人用）

No. 1

		項 目	希望欄	金額欄	
大会参加料		役員参加料	5,000 円	円	
		選手参加料	A : 5,000 円 B : 5,500 円 C : 8,000 円	円	
		ダブルス参加料	卓球 ・ バドミントン ・ テニス	円	
		応援参加料	無 料	円	
		日 付	適 用	申込記号	金額欄
宿泊費	第 1 希望	9月22日(木)	ご希望の申込記号をご記入ください（食事タイプにご注意）		円
		9月23日(金)	ご希望の申込記号をご記入ください（食事タイプにご注意）		円
		9月24日(土)	ご希望の申込記号をご記入ください（食事タイプにご注意）		円
		9月25日(日)	ご希望の申込記号をご記入ください（食事タイプにご注意）		円
	第 2 希望	9月22日(木)	ご希望の申込記号をご記入ください（食事タイプにご注意）		円
		9月23日(金)	ご希望の申込記号をご記入ください（食事タイプにご注意）		円
		9月24日(土)	ご希望の申込記号をご記入ください（食事タイプにご注意）		円
		9月25日(日)	ご希望の申込記号をご記入ください（食事タイプにご注意）		円
		ツイン・和室の希望	同室希望名（ 、 、 、 、 ）		
弁当代	9月23日（金）	700 円（監督・主将等合同会議出席者対象）		円	
	9月24日（土）	700 円（配布希望会場 ）		円	
	9月25日（日）	700 円（配布希望会場 ）		円	
観光	9月23日（金）	①遠藤文学と 1000 万ドルの夜景コース：3,800 円 ご希望の方は右欄に○をご記入ください		円	
	9月26日（月）	②長崎市内の歴史と異文化体験コース：5,500 円 ご希望の方は右欄に○をご記入ください		円	
備考					

- ※大会参加は、該当する希望欄に○をつけ、金額欄に金額をご記入ください。
- ※大会参加料は、監督・コーチ・主将・マネージャーも選手と同じ参加料となります。
- ※選手参加料 B=テニス、C=ボウリング
- ※ダブルス参加料は、「ダブルス参加料早見表」を参照ください。
- ※宿泊申込は 48～49 ページをご覧になり、申込記号と金額をご記入ください。
- ※弁当申込は、ご希望の期日の欄に○をつけ、金額をご記入ください。
- ※応援参加者は、昼食場所（応援先）をご記入ください。当日は（ ）内に記入した場所で弁当をお渡しします。
- ※観光申込はご希望のコースの欄に○をつけ、金額をご記入ください。

2005年 月 日 所属協会名（ ）

名前	フリガナ	男 ・ 女	年齢  歳	聴障者 ・ 健聴者	競技種目	
					応援場所	
住所	〒				TEL	
					FAX	

※この個人参加申込書は、7月8日（金）までにあなたの所属協会に費用と一緒に提出してください。

第 39 回全国ろうあ者体育大会（送迎バス・航空券）申込書（個人用） No.2

担当： \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_



**近畿日本ツーリスト(株)長崎支店**  
 〒850-0033  
 長崎市万才町 7-1 住友生命ビル 1F  
 TEL (095) 820-1684  
 FAX (095) 821-4806  
 担当： 淵上・河添・川野

項目		希望	申込記号	金額欄	
航空機	往路	ご希望の記号をご記入ください。	第一希望		円
		ご希望の記号をご記入ください。	第二希望		円
	復路	ご希望の記号をご記入ください。	第一希望		円
		ご希望の記号をご記入ください。	第二希望		円
上記以外でご希望の区間があればご記入ください。 (5名以上同一便での搭乗があれば、団体特別運賃をご案内いたします)		日時	発地	～	着地
		/		～	
		/		～	
月日(曜日)	往路	復路	単価	申込希望	金額
9月23日(金)	開会式会場 ⇒	長崎市内ホテル	1,500円		円
	開会式会場 ⇒	島原市内ホテル	1,800円		円
9月24日(土)	決定宿泊ホテル ⇒	各大会会場	800円		円
	各大会会場 ⇒	決定宿泊ホテル	800円		円
9月25日(日)	決定宿泊ホテル ⇒	各大会会場	800円		円
	各大会会場 ⇒	決定宿泊ホテル	800円		円

- ※ 航空機は 51～52 ページをご覧ください、申込記号と金額をご記入ください。
- ※ 送迎バスは該当する希望欄に○をつけ、金額欄に金額をご記入ください。
- ※ それぞれの出発時間や出発場所については、試合時間等を考慮して、別途ご案内致します。

2005年 月 日 所属協会名 ( )

名前	刀ガナ	男・女	年齢 歳	聴障者・健聴者	競技種目	
					応援場所	
住所	〒				TEL	
					FAX	

- ※ この申込書は、7月8日(金)までにあなたの所属協会に費用と一緒に提出してください。なお、連休で航空機がとりにくくなっておりますので、先着順とさせていただきます。お早めにお申し込みください。
- ※ 各会場から長崎空港までの送迎など設定以外の便のご希望がございましたら備考欄へご記入ください。その場合、必ず希望日時と区間、人数をご記入ください。

備考欄

申込受付後、受付確認の FAX を致します。FAX が届かない場合は、弊社に届いていない場合がございますので、恐れいりますが、再度 FAX をお願い致します。

受付確認欄

## 日通ペリカン便集荷申込書（ボウリング競技のみ）について

1、担当窓口 日本通運株式会社長崎支店 営業推進課 土谷課長・中村係長・入口主任

2、連絡先 日本通運長崎支店 長崎市元船町4-1-2

電話：095-826-1182 FAX：095-825-7027

3、集荷対応 ボール等を事前に会場に送付される場合は、次の要領で手続きをお願い致します。

「日本通運のペリカン便」扱いく元払い片道・元払い往復ペリカン便>

お荷物(ボール等)は試合前日までに競技会場（長崎ラッキーボウル）へお届けします。

○ 各自にて最寄のペリカン便営業所、取扱店より発送する場合

1. 「ご依頼主」欄にご本人の住所、氏名、電話を明記ください。

2. 「お届け先」欄は以下の通りにご記入ください。

お届け先記入欄 〒851-0134

長崎市田中町406-1 日本通運長崎ペリカン・アロー支店気付け

第39回全国ろうあ者体育大会ボウリング会場行き

電話：095-837-0202 FAX：095-813-9045

3. 9月21日（水）までに必着となるように送ってください。

（発送締め切り：九州（沖縄・離島除く）・中国・関西地方は9月20日（火）まで北海道・沖縄9月18日（日）その他の地区は、9月19日（月）までにお荷物を発送ください。）

4. 梱包方法等については、お近くの日本通運ペリカン便取扱所でご確認ください。

5. 運賃着払いでの発送はできません。

○ ご自宅への集荷をご希望の場合

1. 別紙の「ペリカン便集荷申込書」にご記入の上、日本通運株式会社長崎支店 営業推進課担当まで集荷依頼書をFAXにて(095-825-7027)お申込みください。E-MAIL でのお申込みは、「ペリカン便集荷申込書」と同じ内容をお知らせください。 アドレス [ta-tsuchiya@nittsu.co.jp](mailto:ta-tsuchiya@nittsu.co.jp)

2. 集荷申込み期間 9月1日から9月17日まで

3. 集荷作業期間 9月15日から9月20日まで

（集荷締め切り：九州（沖縄・離島除く）・中国・関西地方は9月20日（火）まで北海道・沖縄9月18日（日）その他の地区は、9月19日（月）までにお荷物を発送ください。）

○ ご指定の集荷ご希望日に最寄の日本通運から集荷に伺います。

○ 運賃の目安（各地から会場までの運賃）

(円)

サイズ (3辺の和)	質量	九州	中国	四国	関西	北陸 中部	関東 信越	東北	北海道	沖縄
60cm	～2kg	740	740	840	840	950	1160	1370	1790	1160
80cm	～5kg	950	950	1050	1050	1160	1370	1580	2000	1680
100cm	～10kg	1160	1160	1260	1260	1370	1580	1790	2210	2210
120cm	～15kg	1370	1370	1470	1470	1580	1790	2000	2420	2730
140cm	～20kg	1580	1580	1680	1680	1790	2000	2210	2630	3260
170cm	～30kg	1790	1790	1890	1890	2000	2210	2420	2840	3780

※ 上記の運賃には消費税が含まれております。

※ お荷物を日本通運の各支店・営業所、またはペリカン便取扱店にお持ちいただいた場合、上記運賃より100円引きとなります。

Fax送信先 095-825-7027  
日本通運(株)長崎支店 営業推進課 土谷行き

第39回全国ろうあ者体育大会ペリカン便集荷申込み書  
ボウリング競技大会のみ

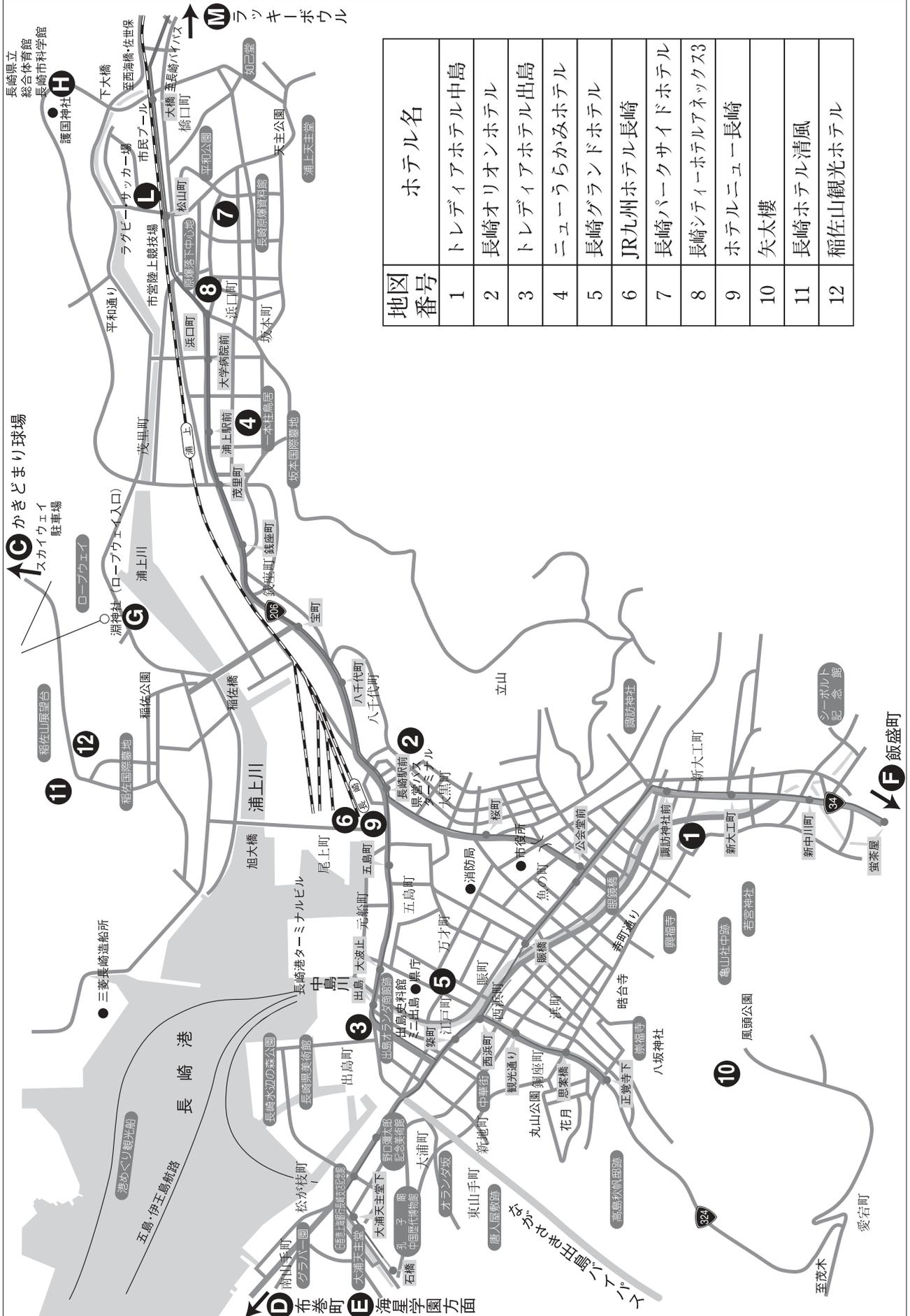
フリガナ	
名前	
住所	
Fax番号	
電話番号	
集荷希望日	月 日 (午前・午後・夜間)
荷物個数	個
バック用カバー	持っている ・ 持っていない (荷物によってはカバーをご購入いただくこととなります。1枚230円)
ご利用回数	往路利用(行きのみ1回)・ 往復利用(行きも帰りも合計2回一往復ペリカン便)
その他	* 何かご要望・ご質問などがありましたら記入ください。

\* お申込み受付後、ファックスにて返送いたします。  
返送のファックスが届かない場合、恐れ入りますが、申込み書を再度送信願います。

日本通運確認欄

# 長崎地区

(C D E F G) 軟式野球・(H) 卓球・(C) テニス・(L) ゲートボール・  
(M) ボウリング競技)



大村地区 ( (A) 監督・主将会議・ (A) 開会式・ (A)(B) ソフトボール・  
(A) バドミントン競技)



諫早地区 ( (1) 陸上競技)



# 島原地区 (K サッカー・K バスケットボール競技)



地図 番号	ホテル名
25	島原第一ホテル
26	ニュークイーンホテル
27	Hotel&Spa花みずぎ
28	九十九ホテル
29	ホテル南風樓

# 佐世保地区 (J) バレーボール競技



# 第39回全国ろらあ者体育大会

## 会場案内図

内容	会場	地図位置番号
監督・主将会議、選手説明会	大村市コミュニティセンター	A
開会式	大村市体育文化センター	A
競技内容	会場	地図位置番号Aからのバスでの所要時間
第51回 野球競技(軟式)	かきどまり球場	約1時間 C
	海星学園野球場	約1時間50分 D
	布巻町元宮公園多目的広場	約1時間45分 E
	飯盛町総合運動場	約40分 F
	三菱球場	約50分 G
第39回 卓球競技	長崎県立総合体育館	約50分 H
第37回 陸上競技	長崎県立総合運動公園陸上競技場	約30分 I
第37回 ハレーボール競技	佐世保市体育文化館	約1時間30分 J
第25回 サッカー競技	島原市営平成町多目的広場	約1時間30分 K
第24回 テニス競技	かきどまり庭球場	約1時間 C
第19回 ゲートボール競技	平和公園市営ラグビーサッカー場	約50分 L
第18回 ボウリング競技	長崎ラッキークーボウル	約50分 M
第13回 ソフトボール競技	大村市営野球場	A
第13回 バドミントン競技	大村市営森運動広場	B
第6回 バスケットボール競技	大村市体育文化センター	A
第6回 バスケットボール競技	島原復興アリーナ	約1時間30分 K





## 第39回 全国ろうあ者体育大会実行委員会

〒852 8104 長崎県長崎市茂里町3-24  
長崎県総合福祉センター4階 長崎県ろうあ福祉協会内  
TEL 095 847 2681 FAX 095 847 2572  
E-mail:roua-ngs@siren.ocn.ne.jp